

工事説明書

回転式乾燥機

TD6-20

タイプ N2...



Electrolux
PROFESSIONAL

目次

目次

1	安全対策について	7
1.1	ガス加熱回転式乾燥機	8
1.2	一般情報	8
1.3	商業用途専用	8
1.4	人間工学的な認定	8
1.5	記号	9
2	保証条件と例外事項	10
3	技術データ	11
3.1	電気加熱機	11
3.1.1	図面	11
3.1.2	技術データ	12
3.2	蒸気加熱機	13
3.2.1	図面	13
3.2.2	技術データ	14
3.3	ガス加熱機	15
3.3.1	図面	15
3.3.2	技術データ	16
3.4	加熱ポンプ装備機	17
3.4.1	図面	17
3.4.2	技術データ	18
4	設置	19
4.1	開梱	19
4.2	ホイール	20
4.3	据付場所	21
4.4	ドレン接続 (加熱ポンプ装備機のみ)	22
4.5	機械関連のインストール	22
5	海洋据付	23
6	排気システム	24
6.1	送風原理	24
6.1.1	電気、蒸気、ガス加熱の機械	24
6.1.2	加熱ポンプ装備機	24
6.2	外気	25
6.3	排気管	25
6.4	共有排気管	26
6.5	排気関連の寸法	26
6.6	風量の調整 (加熱ポンプが装備されている回転式乾燥機では無効)	27
7	電気接続	33
7.1	電気関連の据付	33
7.2	フェライトとの機械の接続	34
7.2.1	AFCまたはDSCが搭載された機械	34
7.3	単相接続	35
7.4	3相接続	36
7.5	電気接続	37
7.6	I/Oカード用機能	38
7.6.1	中央支払い(2J)	38
7.6.2	中央支払い(2J)	39
7.6.3	外部のコインメーター/中央支払い(2K)	40
7.6.4	料金の軽減(2K)	41
7.7	オプション	41
7.7.1	外部接続 - 100 mA	41
7.7.2	外部接続 - 1.25 A	42
8	蒸気接続	42
8.1	蒸気の接続	42
9	ガス接続	44
9.1	ラベルを固定します。	44
9.2	一般	44
9.3	ガスの据え付け	45
9.4	圧力・調整表	45
9.5	テスト稼働	46
10	ドア開き方向の変更	47
11	最初の電源接続	52

目次

11.1	使用言語を選択してください。	52
11.2	時間と日付の設定	52
11.3	サービスアラームの有効化/無効化	52
12	機能確認	53
13	廃棄に関する情報	56
13.1	本機の耐用年数終了時の廃棄	56
13.2	梱包材の廃棄	56

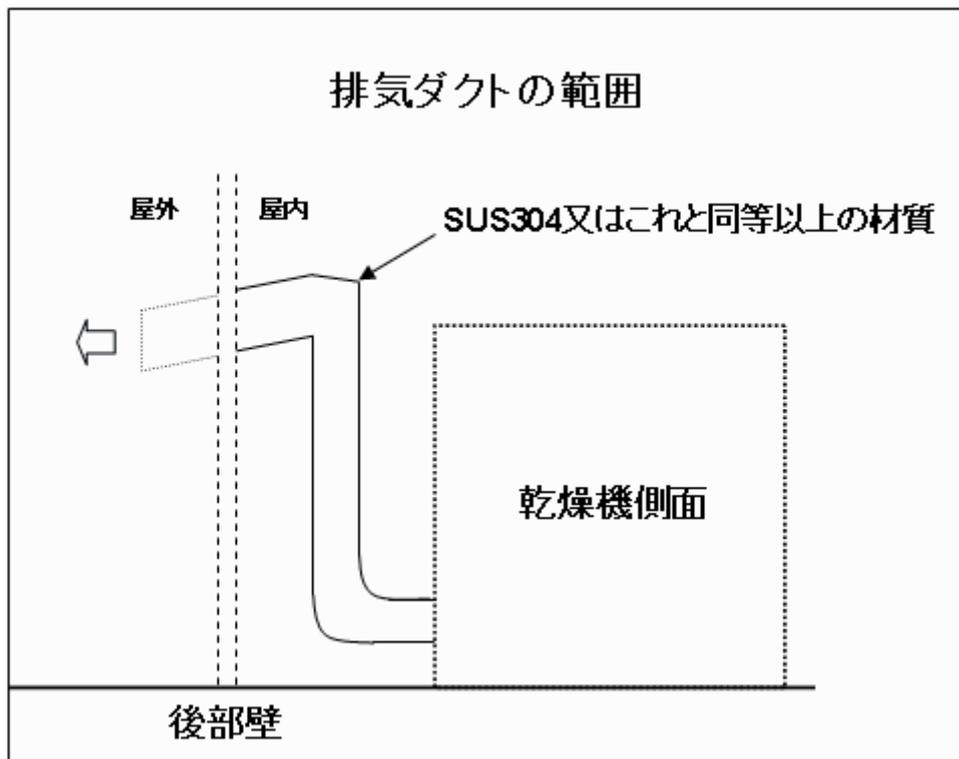
製品の仕様は予告なく変更されることがあります。



重要

給排気部の材質について

法令によりガス乾燥機の屋内排気ダクト及び屋内の排気部分に使用する材質は、ガス事業法の規定に基づき、耐熱性、耐食性がある SUS304 (ステンレス) と同等以上の物、又はチタンの材料を使用してください。



ガス乾燥機の設置基準について

本工事説明書には当社が制定したガス乾燥機の設置基準が明記されておりますが、一部の地域では条例によって個別に設置基準が定められている場合がございますのでご注意ください。

1 安全対策について

- 資格のある人員のみが修理を行うことができます。
- 修理には認証された部品や付属品、消耗品のみを使用してください。
- 洗浄に工業薬品が使用されている場合、本機を使用することはできません。
- 洗い終わっていない洗濯物を機械の中で乾かさないでください。
- 調理油、アセトン、アルコール、ガソリン、灯油、染み消し、テレピン油、ワックス各種、ワックスリムーバーといった物質で汚染された洗濯物は、本機で乾かす前に、熱湯に多めの洗剤を入れて洗ってください。
- 気泡ゴム(ラテックス気泡)、シャワーキャップ、防水布、ゴムを貼ったもの、気泡ゴムパッドをあしらった洋服や枕は、本機で乾かさないでください。
- 繊維の柔軟剤や同様の製品は、各製品の説明に定められた通りに使用してください。
- 乾燥サイクルの最後は熱が発生しません(クールダウンサイクル)が、これは洗濯物がダメージを受けない温度にするためです。
- ライターやマッチなど、全ての物をポケットから取り出してください。
- 警告 乾燥サイクルの終了まで決して本機を停止しないでください。やむ終えず停止する場合、洗濯物を速やかに取り出し、広げて放熱してください。
- 暖炉などの覆いのない火を含め、燃料を燃やす装置のある部屋へのガスの逆流を防止するため、十分な通気を行うことが必要です。
- ガスその他の燃料を燃焼させている機械からの煙排出用の送気管へ、排気を排出させてはいけません。
- 機械が完全な開口を妨げるような方法で、乾燥機を施錠できるドア、引きドア、機械の反対側にあるヒンジ付きのドアの背後に取り付けてはいけません。
- 機械にリントフィルターがある場合、頻繁に洗浄してください。
- 繊維くずが機械とその周辺に積もらないようにしてください。
- 本機を改造しないでください。
- サービスの実施やパーツ修理の際は、電源ケーブルは抜いてください。
- 電源がオフになったら、オペレーターは機械が全てのアクセスポイントからオフになっている(プラグが外された状態)ことを確認する必要があります。機械の製造または設置理由からこれが不可能な場合、分離位置にロックシステムを設置することでオフにする方法が提供されなければなりません。
- 配線規則の順守：本機の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。
- 警告：本機にはタイマー等、外部のスイッチングデバイスを付けないようにしてください。また、ユーティリティーで定期的にスイッチオン・オフする回路には接続しないようにしてください。
- 機械のデータプレートに異なる定格電圧もしくは異なる定格周波数(1で区切られています)が表示されている場合は、必要な定格電圧または定格周波数で作動するように器具を調整する手順が設置マニュアルに記載されています。
- ベース部分の開口部がじゅうたんなどで塞がれないようにしてください。
- 乾燥させる衣類の最大量：20 kg
- 作業場での荷重排出音圧: 70 dB(A).

1.1 ガス加熱回転式乾燥機

- 設置前に、地域の配水条件、ガスと圧力の種類、および装置の適合性を確認してください。
- 本機械は、ペルクロロエチレン、トリクロロエチレン、炭化水素を含むクロロフルオロを洗浄剤とする洗浄機がある部屋に取り付けてはなりません。
- ガスの臭いがしたら、
 - いずれの器具もスイッチを入れしないでください。
 - 電気スイッチを使用しないでください。
 - 建物内で電話を使用しないでください。
 - 部屋、建物、またその周辺から避難してください。
 - 機械の担当者に連絡してください。
- 次の国に関する追加要件：AT、BE、BG、HR、CY、CZ、DK、EE、FI、FR、DE、GR、HU、IS、IE、IT、LV、LT、LU、MT、NL、NO、PL、PT、RO、SK、SI、ES、SE、CH、TR、UK:
 - 本機械は公共エリアで使用することができます。
 - 8歳以上のお子様、ならびに身体的、感覚的または知的能力が低下している、あるいは経験および知識がない方は、監視の下、または器具の安全な使用方法の指導を受け、伴う危険について理解した後、本機を使用することができます。お子様は本機を使って遊ばないものとします。クリーニングおよびユーザーによるメンテナンスを、監視なしでお子様が行わないものとします。
- 他の国の追加要件：
 - 身体、感覚、精神的能力が減少している方、または知識や経験が不足している方（子どもを含む）は、安全性に関する責任を持つ人物から、機器の使用について監督または指示を受けない限り、本機器を使用することができません。お子様が本機で遊ばないよう監視してください。

1.2 一般情報

本機の保管と輸送は、気温 -20°C ~ +70、°C 相対湿度 95% の条件で実行してください。

水滴により、電子機器（およびその他のパーツ）へ損傷が発生する可能性を防止するため、初めて本機械を使用する24時間前までに、温度が室温である場所に置いてください。

以下に電源供給条件を示します。

- 各国の定格電圧最大範囲：-15% / +10%。
- 各国の定格周波数最大範囲：±3 Hz。
- 停電や電圧低下：1日5デイツプ（100% 電圧喪失が3-4分継続）。

最適な方法は、絶えず安定した電力供給ができることです。電力供給に変動が見られると、電気・電子部品に応力は追加負荷がかかります。

1.3 商業用途専用

本書で説明されている機械製品は、商業用、業務用専用に製造されています。

1.4 人間工学的な認定

人間の体は動き、活動するために設計されています。しかし静止状態や反復運動や好ましくない作業姿勢の結果として、身体的なストレス損傷が起こる場合があります。

物理的および認知的相互作用に影響を及ぼす可能性のある、製品の人間工学的な特徴は評価され、正式に認定されています。

人間工学的な特徴を示す製品は、実際、職業能力開発、生物医学、心理社会の3つの分野に属する特定の人間工学的な必要条件（使い易さと満足度）を満たさなければいけません。

これらそれぞれの分野に関して、実際の使用者での専門のテストが実施されています。製品は従って、標準規格に要求される人間工学的な判定基準に順じています。

いくつかの機械を同じひとりのオペレーターが操作している場合、反復運動が増え、その結果生体力学的リスクが飛躍的に増大します。

発生する可能性のある姿勢のリスクは、ユーザーインタフェース、ディスプレイおよびボタンとの基本的な相互作用です。

次の項目は、オペレーターが肉体的損傷を受けないよう、可能な限り避けることを推奨します。

- 洗濯物の出し入れや運搬には、カートやバスケットが適切なものであることを確認してください。
- いくつかの機械を同じひとりのオペレーターが操作している場合は、作業場でのジョブローテーションを上手く組織化してください。

1.5 記号

	注意
	注意、加熱した表面
	注意、高電圧
	本機の使用前に説明書をお読みください

2 保証条件と例外事項

本製品の購入に保証範囲が含まれている場合、保証は、現地規制に従って提供され、かつ、意図した目的で適切な設備関連文書に記載されている目的に沿って設置および使用された本製品を対象とします。

保証は、お客様が純正の予備部品のみを使用しており、Electrolux Professional の紙版または電子版のユーザーマニュアルとメンテナンスマニュアルに従ってメンテナンスを実施した場合に適用されます。

Electrolux Professional は、最適な結果を得るため、および、製品効率を長期間維持するために、Electrolux Professional の認定を受けた洗浄剤、すすぎ剤、スケール除去剤の使用を強く推奨しています。

以下は Electrolux Professional の保証の対象ではありません。

- 本製品の配送および回収を目的とするサービス出張費
- 設置
- 使用・操作方法のトレーニング
- 摩耗した部品や破損した部品の交換（および提供）。発生から1週間以内に報告された材料不良または出来栄不良の結果として摩耗または破損した場合は保証の対象となる可能性があります。
- 外部配線の修正
- 不正修理の是正、および、以下の結果年発生した破損/障害/非効率性の修正
 - 電気システムの容量不足や容量異常（電源/電圧/周波数。スパイクや供給停止を含む）
 - 不適切な水供給/蒸気/空気/ガス（不純物や、各装置の技術要件を満たしていないその他の物質を含む）、またはこれらの中断
 - 配管部品、構成部品、またはクリーニング用の消耗品で、製造元の認可を受けていないもの
 - お客様の不注意、誤用、悪用、および、適切な設備関連文書に詳しく記載されている使用方法とお手入れ方法の不順守
 - 不適切または不十分な設置、修理、メンテナンス（認可を受けていない第三者により実行された改ざん、改造、修理を含む）、および安全システムの改造
 - オリジナルではない構成部品（消耗品、摩耗/破損品、予備部品など）の使用
 - 熱的ストレス（過剰な加熱/凍結など）または化学的ストレス（腐食/参加など）を誘発する環境条件
 - 本製品の内部にある異物、または本製品に接続されている異物
 - アクシデントや不可抗力
 - 輸送と取り扱い（かき傷、へこみ、破碎、本製品の仕上がりに対するその他の損害を含む。ただし、別段の取り決めのない限り、上記損害が材料または出来栄の不良の結果として生じたものであり、納品から1週間以内に報告された場合はこれに該当しない）
- 製品のオリジナルのシリアル番号が削除されている、変更されている、またはすぐに判読できない場合
- 電球、フィルター、消耗部品の交換
- Electrolux Professional から認定も指定も受けていないアクセサリとソフトウェア

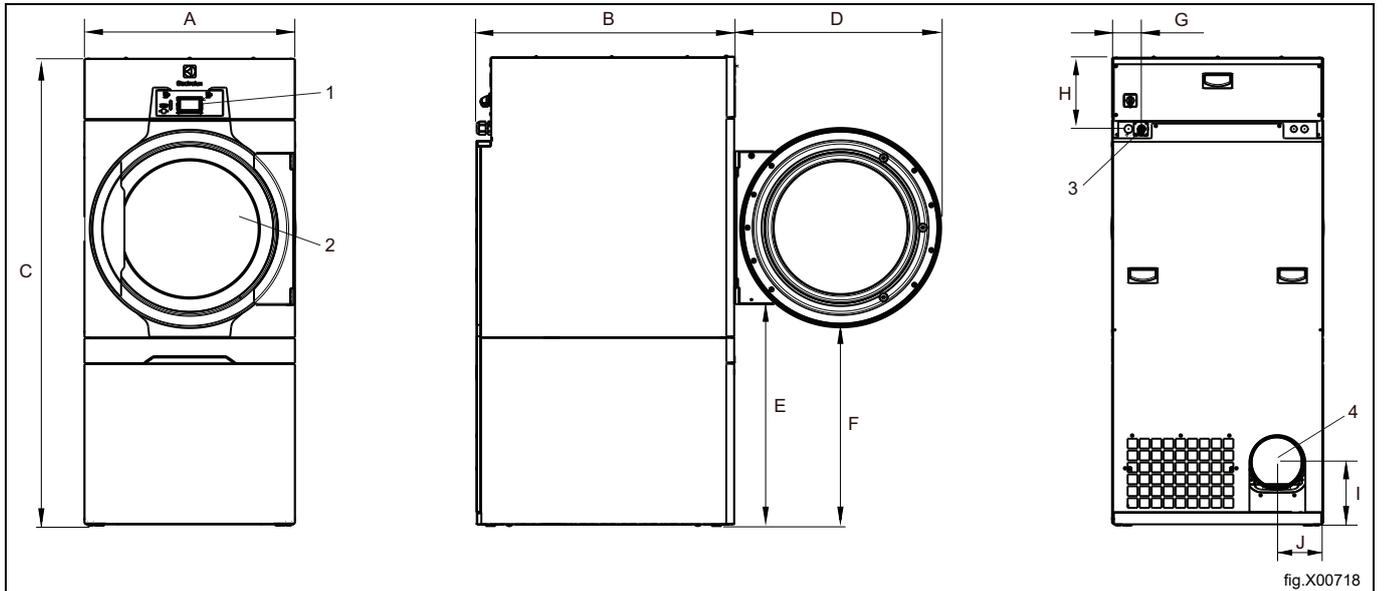
予定されているメンテナンス作業（メンテナンスに必要な部品を含む）と、クリーニング用品は保証の対象に含まれません。ただしそれらが別途、現地の契約で扱われており、現地の利用規約の対象である場合はこれに該当しません。

正規のカスタマーケアのリストが Electrolux Professional ウェブサイトに掲載されていますのでご確認ください。

3 技術データ

3.1 電気加熱機

3.1.1 図面



1	操作パネル
2	ドア開口、 ϕ 580 mm
3	電気接続
4	排気接続

	A	B	C	D	E	F
mm	795	1200	1770	775	835	750

	G	H	I	J
mm	110	270	240	175

3.1.2 技術データ

本体重量 (正味)	kg	231
ドラム容積	リットル	360
ドラム直径	mm	755
ドラム奥行き	mm	831
中程度の負荷でのドラム回転数	rpm	43
定格容量、充填率 1:18 (最大負荷)	kg	20
定格容量、充填率 1:22 (推奨負荷)	kg	16.4
加熱：電気	kW	13.2
	kW	13.5
	kW	18.0
最適風量、13.5 kW**	m ³ /h	470
最適風量、18.0 kW**	m ³ /h	580
最適静的背圧、13.5 kW**	Pa	690
最大静的背圧、13.5 kW**	Pa	700
最適静的背圧、18.0 kW**	Pa	580
最大静的背圧、18.0 kW**	Pa	600
乾燥時の音響パワーレベル/音圧レベル*	dB(A)	72/56

* 音響パワーレベルはISO 60704に準拠して測定。

** 機械が冷えて空の状態。

接続部

排気口径	ø mm	200
------	------	-----

3.2 蒸気加熱機

3.2.1 図面

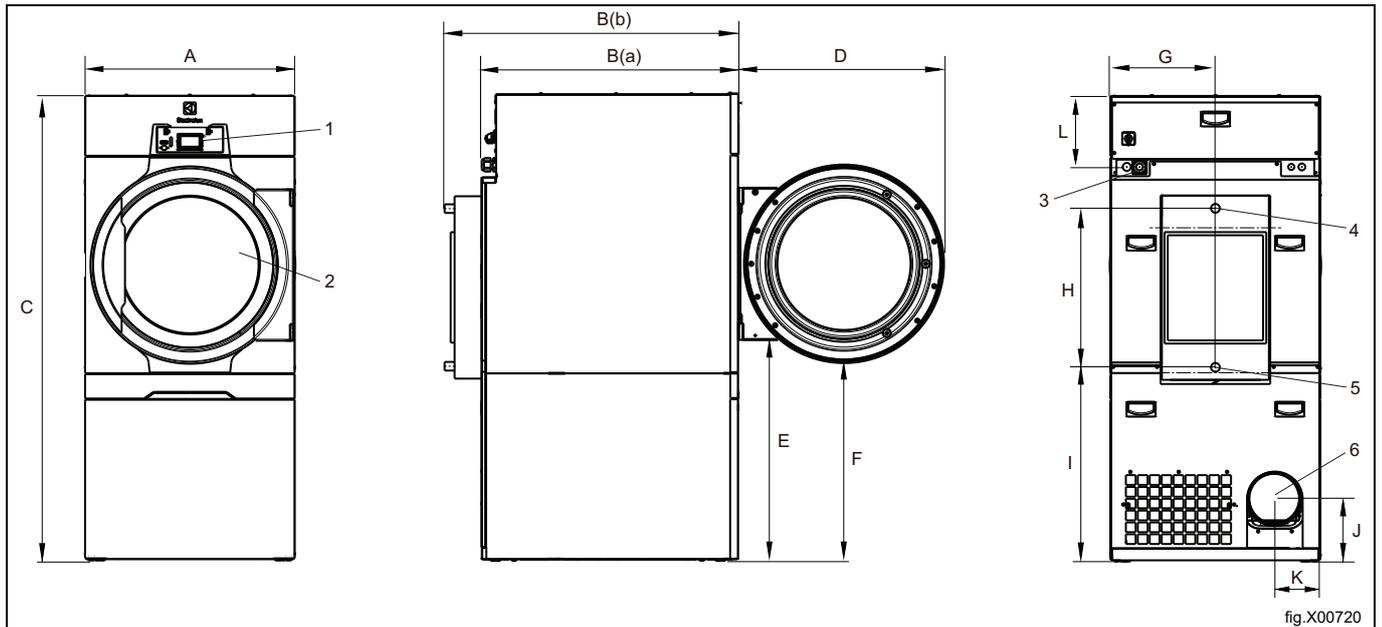


fig.X00720

1	操作パネル
2	ドア開口、 ϕ 580 mm
3	電気接続
4	蒸気接続
5	ドレン接続
6	排気接続

	A	B (a)	B (b)	C	D	E
mm	790	1200	1340	1770	775	835

	F	G	H	I	J	K
mm	750	395	605	740	240	175

	L
mm	110

3.2.2 技術データ

本体重量 (正味)	kg	238
ドラム容積	リットル	360
ドラム直径	mm	755
ドラム奥行き	mm	831
中程度の負荷でのドラム回転数	rpm	43
定格容量、充填率 1:18 (最大負荷)	kg	20
定格容量、充填率 1:22 (推奨負荷)	kg	16.4
加熱 : 700 kPa の蒸気	kW	25.0
蒸気圧	kPa	100-1000
最適風量**	m ³ /h	690
最適静的背圧**	Pa	570
最大静的背圧**	Pa	600
乾燥時の音響パワーレベル/音圧レベル*	dB(A)	72/56

* 音響パワーレベルはISO 60704に準拠して測定。

** 機械が冷えて空の状態。

接続部

排気口径	ø mm	200
蒸気吸入/排出部		ISO 7/1-R1

3.3 ガス加熱機

3.3.1 図面

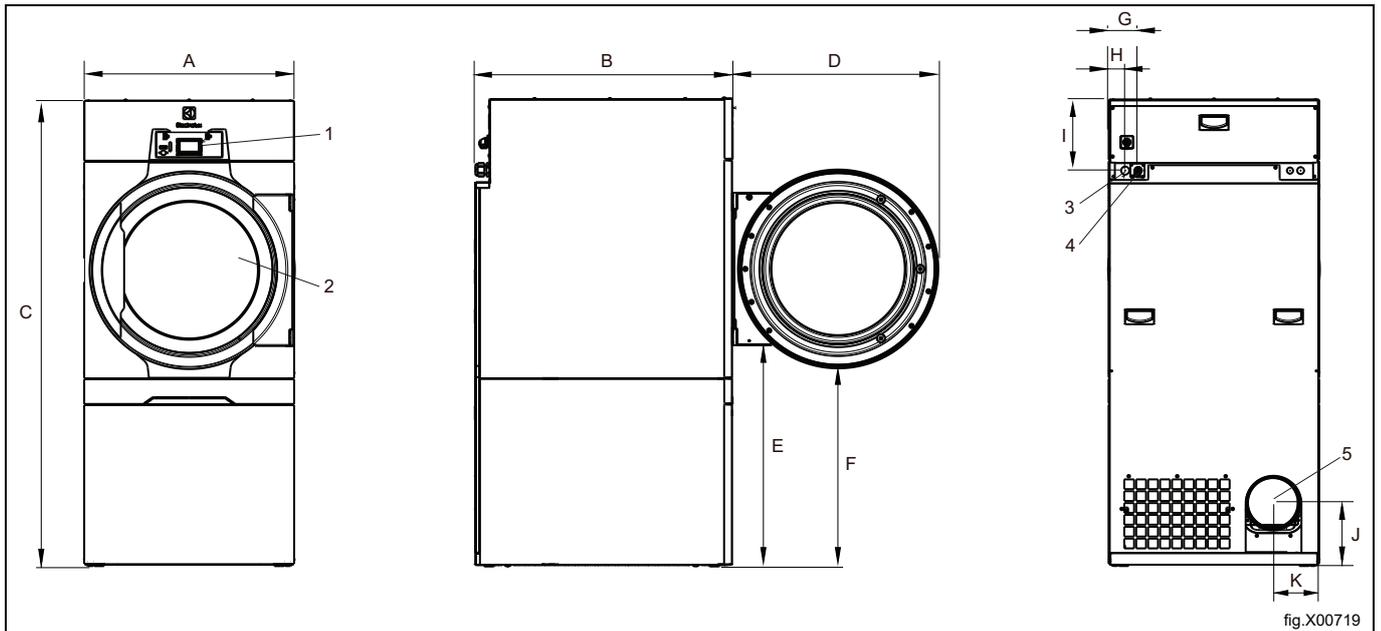


fig.X00719

1	操作パネル
2	ドア開口、 ϕ 580 mm
3	電気接続
4	ガス接続
5	排気接続

	A	B	C	D	E	F
mm	795	1200	1770	775	835	750

	G	H	I	J	K
mm	110	60	270	240	175

3.3.2 技術データ

本体重量 (正味)	kg	231
ドラム容積	リットル	360
ドラム直径	mm	755
ドラム奥行き	mm	831
中程度の負荷でのドラム回転数	rpm	43
定格容量、充填率 1:18 (最大負荷)	kg	20
定格容量、充填率 1:22 (推奨負荷)	kg	16.4
加熱：ガス	kW	21.0
最適風量**	m ³ /h	690
最適静的背圧**	Pa	570
最大静的背圧**	Pa	600
乾燥時の音響パワーレベル/音圧レベル*	dB(A)	72/56

* 音響パワーレベルはISO 60704に準拠して測定。

** 機械が冷えて空の状態。

接続部

排気口径	ø mm	200
ガス接続	1/2"	ISO 7/1-R1/2

3.4 加熱ポンプ装備機

3.4.1 図面

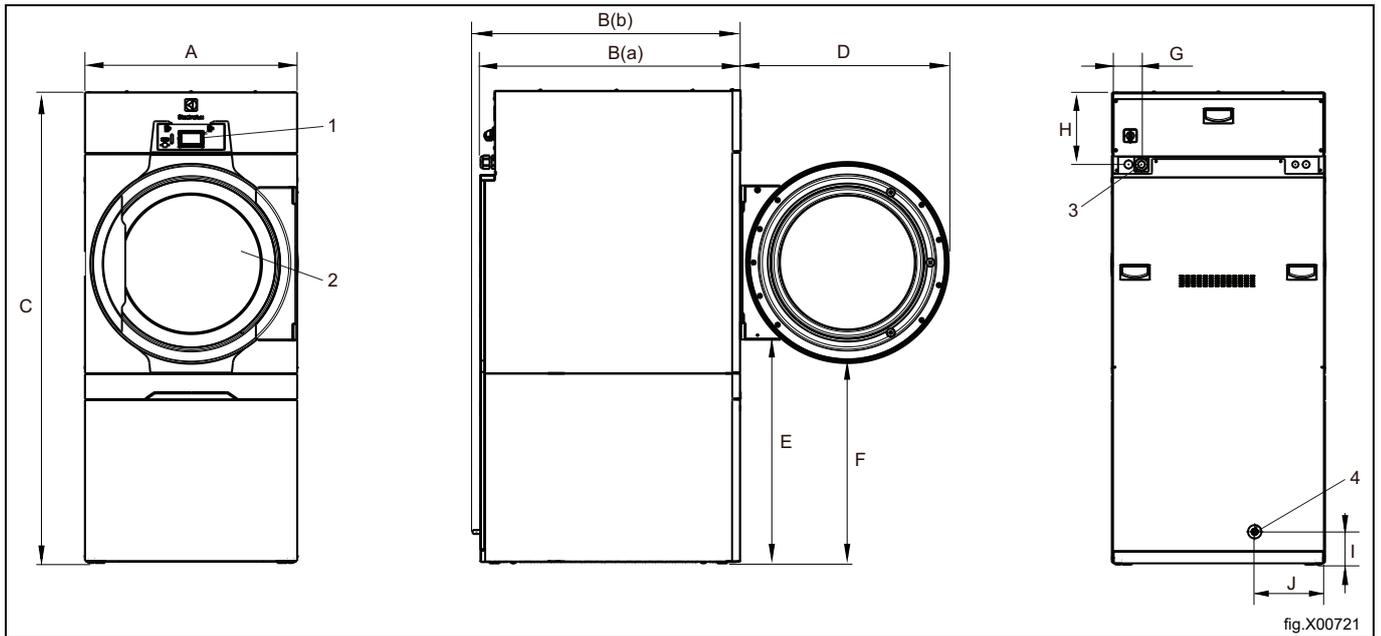


fig.X00721

1	操作パネル
2	ドア開口、 ϕ 580 mm
3	電気接続
4	凝縮水用ドレン

	A	B (a)	B (b)	C	D	E
mm	790	1200	1230	1770	775	835

	F	G	H	I	J
mm	750	110	270	125	260

3.4.2 技術データ

本体重量(正味)	kg	281
ドラム容積	リットル	360
ドラム直径	mm	755
ドラム奥行き	mm	831
中程度の負荷でのドラム回転数	rpm	43
定格容量、充填率 1:18 (最大負荷)	kg	20
定格容量、充填率 1:22 (推奨負荷)	kg	16.4
最適風量**	m ³ /h	該当なし
最適静的背圧**	Pa	該当なし
最大静的背圧**	Pa	該当なし
乾燥時の音響パワーレベル/音圧レベル*	dB(A)	72/56
乾燥サイクルあたりの平均熱排出量***	kW	1.5
周囲動作温度	°C	+10 ~ +45

* 音響パワーレベルはISO 60704に準拠して測定。

** 機械が冷えて空の状態。

*** 寸法記入を要する換気ニーズに支援が必要な場合は、認定換気技師に連絡してください。

接続部

パイプ接続、濃縮水	ø mm	15
-----------	------	----

加熱ポンプ

冷却剤のタイプ		R134a
冷却剤の量	kg	1.6

フッ素化温室効果ガス

この製品には、下記のフッ素化温室効果ガスが使用されています。

R134a: 1.600 kg

GWP 1430

CO₂換算 2.288 t

ハーメチックシール

4 設置

4.1 開梱

注

加熱ポンプ装備機：本機が横になっていた場合、あるいは45°以上傾斜していた場合は、°本機設置後24時間経過してから本機を使用してください。

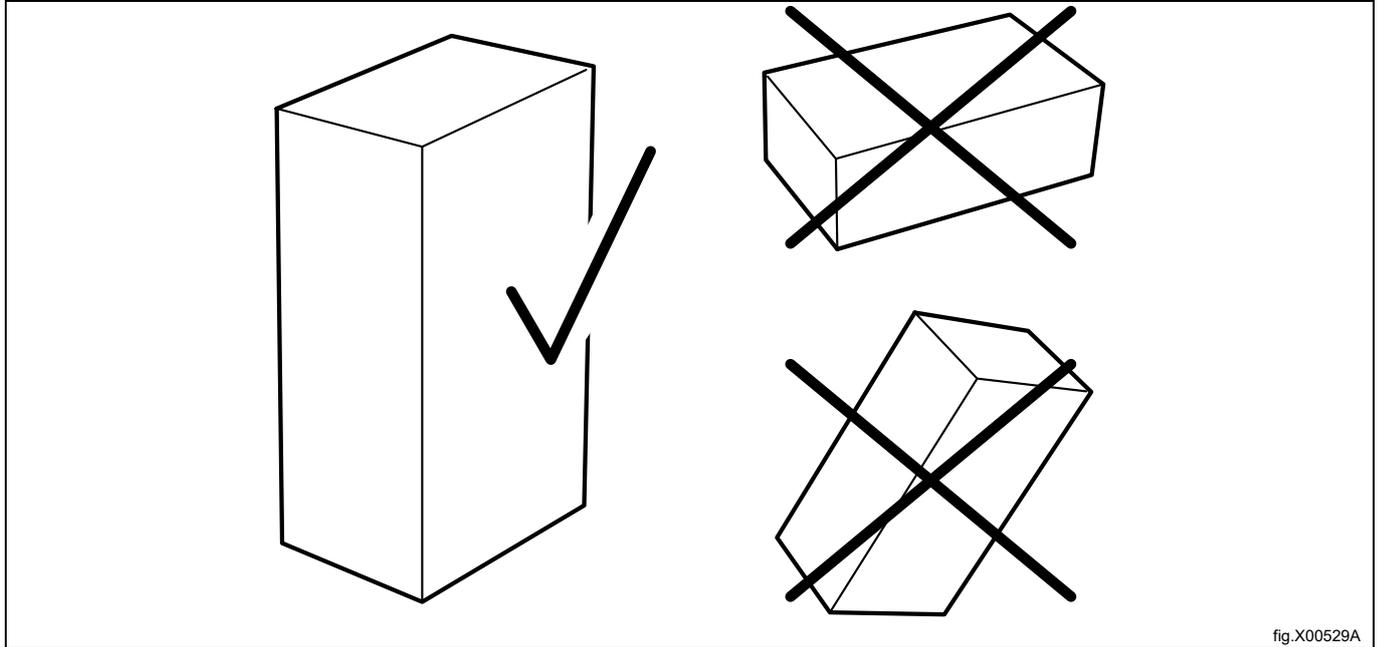


fig.X00529A

注

開梱は少なくとも2名で行ってください。
 フィルタードローを取り外し、次に下部フロントパネルを取り外します。
 背面パネルを取り外します。

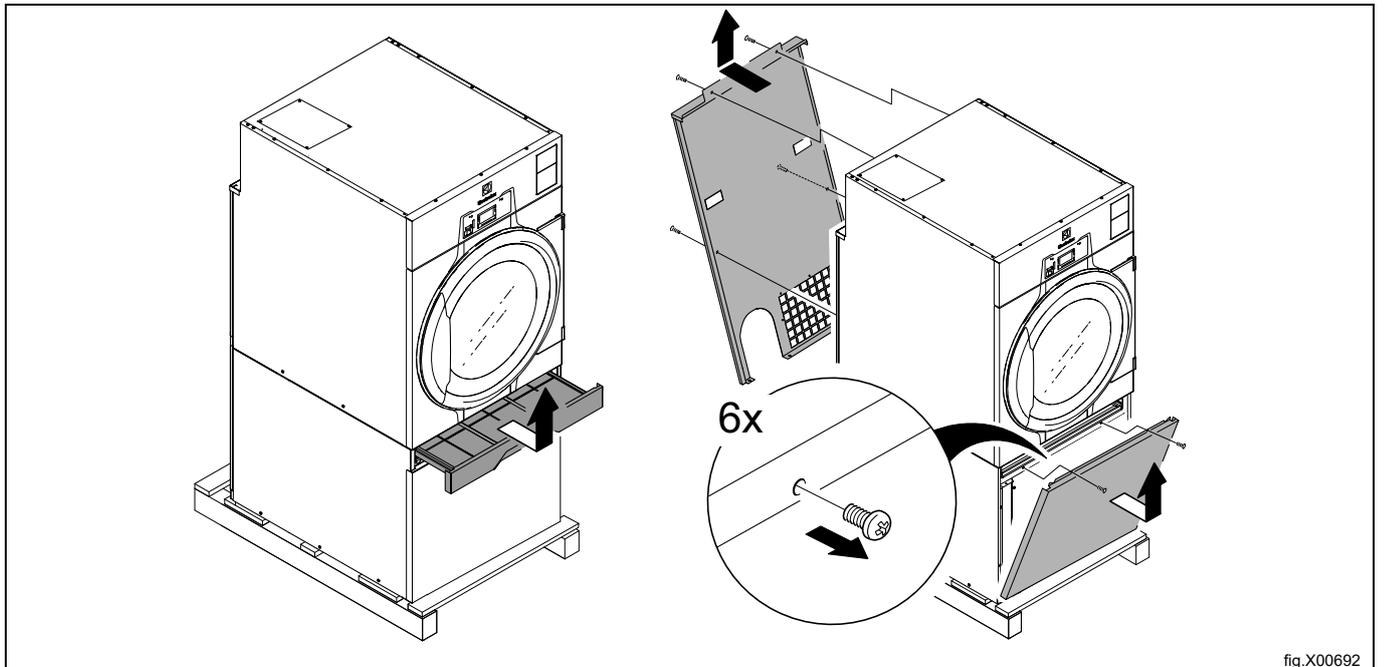
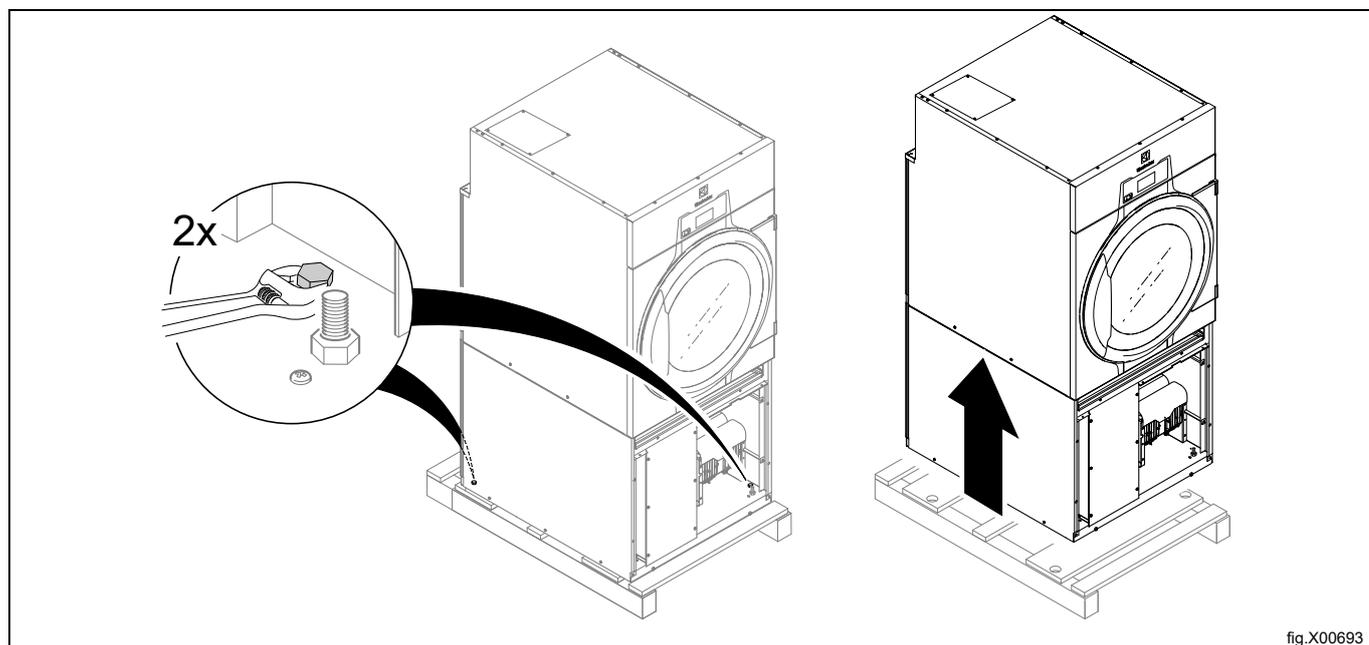


fig.X00692

本機をパレットに固定しているボルトを取り外します。
パレットから機械を外します。

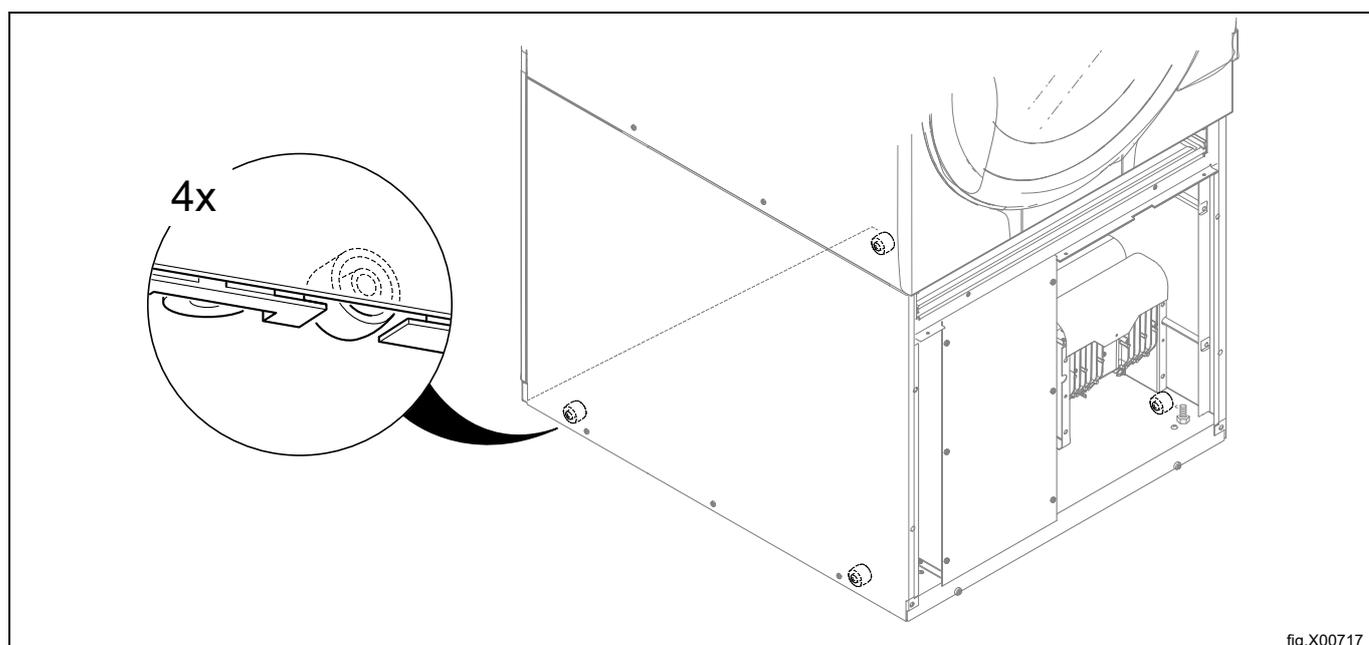
注
機械の移動は丁寧に行ってください。ドラムには輸送用の仮止めがありません。



ホイールの上を滑らせて、本機を最終位置に設置します。

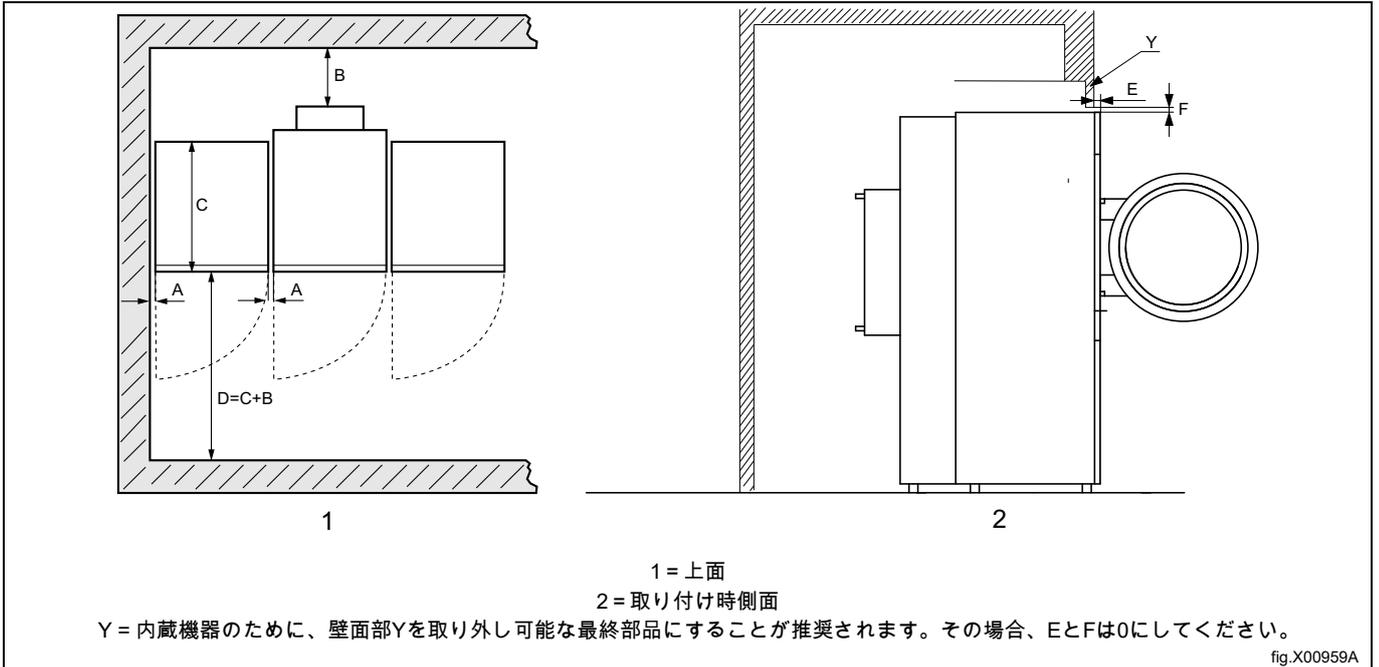
4.2 ホイール

人間工学上の理由から、本機にはホイールが付いています。
ホイールにより、機械を持ち上げなくても楽に動かすことができます。
ホイールは、脚を下していない状態でのみ使用可能です。



4.3 据付場所

この図は、壁あるいは他の機械への最小距離を示しています。



A	5-500 mm (Min. 5 mm)
B	500 mm (最小 200 mm)
C	本機の奥行
D	$D = C + B$ (最小1220 mm。本機を使用できる最小限の値)
E	Min. 40 mm
F	最小25.4 mm (本機の上の隙間をふさぐために天端を使用する場合があります) 必要最低限の間隔: 0 mm)

注

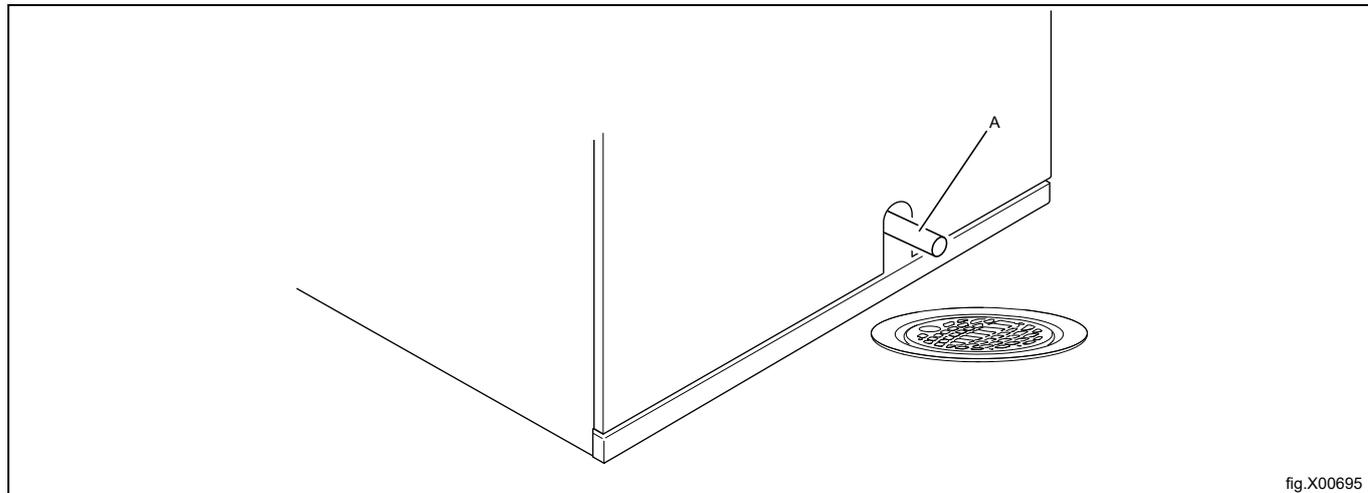
ユーザーとサービス担当者の両方にとって、作業に十分なスペースを確保できるように、本機を配置する必要があります。

推奨事項の順守により、メンテナンスやサービス運用が容易となります。

スペースに制約がある場合は、推奨事項にかかわらず本機を設置することも可能です。その場合は、影響を受ける機械にアクセスしてサービスを行えるよう、他の機械の配線を遮断して移動する必要がある場合がありますのでご注意ください。

4.4 ドレン接続 (加熱ポンプ装備機のみ)

本機に同梱されているパイプ (A) を、加熱ポンプユニットの排水に接続します。
ドレンホースをパイプ (A) に接続します。



注

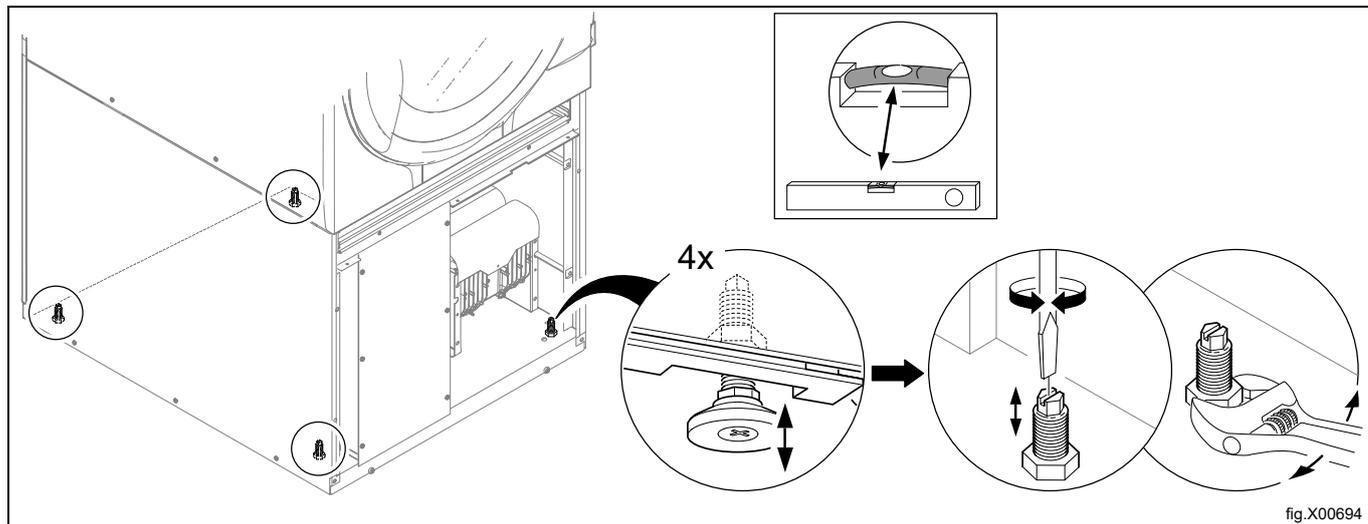
ドレンホース (A) は、床に設けられた排水設備の水位よりも高い位置に設置する必要があります。
排水管は、加熱ポンプユニットからの排水口よりも低い位置でなければなりません。そうでない場合、水が本機械に逆流します。脚部で調整してください。
ホースがゆるやかな弧を描いて垂れ下がるようにしてください。

4.5 機械関連のインストール

本機械の脚部で、水平になるよう調整してください。脚の高さの調節は15mmまで可能です。

注

機械が4本のすべての脚で安定して立っていること、ホイールの上に直接乗っていないことが重要です。ホイールは、機械を移動するためにのみ使用してください。



パネルを再度取り付けます。

5 海洋据付

機械が確実に安定するように、必ず土台に機械を固定してください。

M10のセットスクリューを4本用い、4つの取付具（海洋機器に添付）を土台に固定してください。

機械を取付具に固定します。

注

海洋据付は、ガス加熱機あるいは加熱ポンプ装置器に対して適用可能ではありません。

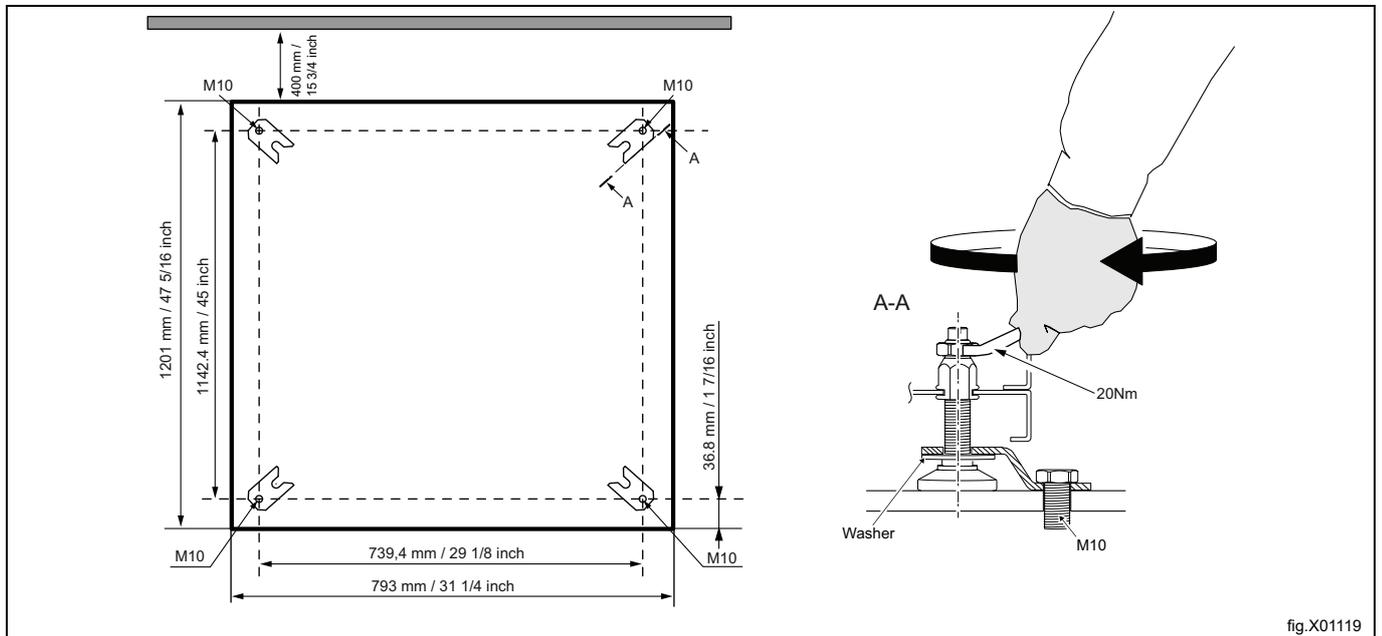


fig.X01119

取付具が本機に同梱されていない場合は、487193544番のキットをご注文ください。

6 排気システム

6.1 送風原理

注
最善の乾燥結果を得るには、機械に外気の供給が十分にあることが非常に重要です。

6.1.1 電気、蒸気、ガス加熱の機械

ファンが機内に低圧力を生み出し、加熱装置を介して空気がドラム内に送り込まれます。温められた空気は衣類を通してドラムの穴へ抜け、ドラムの下に配置されたフィルターを通過します。その後、ファンと排気システムを経て、外部に排出されます。

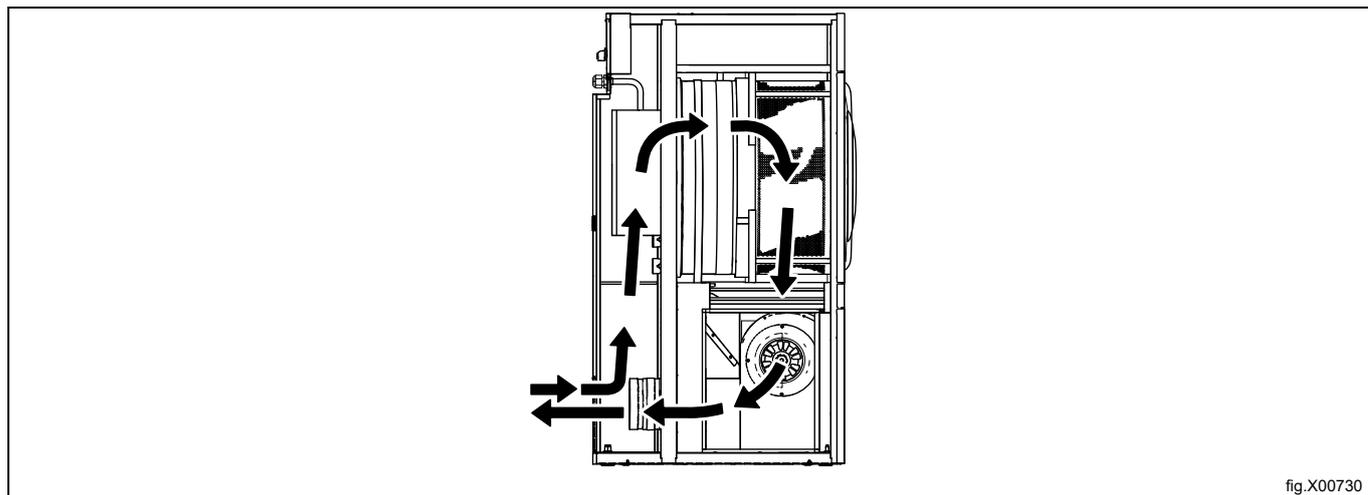


fig.X00730

6.1.2 加熱ポンプ装備機

ファンによって機内に生み出された空気の流れが、加熱装置を介してドラム内へ送り込まれます。温められた空気は衣類を通してドラムの穴へ抜け、最初のフィルタードローアを通り、そのすぐ下に設置された2番目の専用フィルターを通過します。加熱ポンプに繊維くずが詰まらないようにするため、加熱ポンプ装備機では専用フィルターは必須です。空気は2つのフィルターを通過した後、ドラムへ再び戻って循環します。

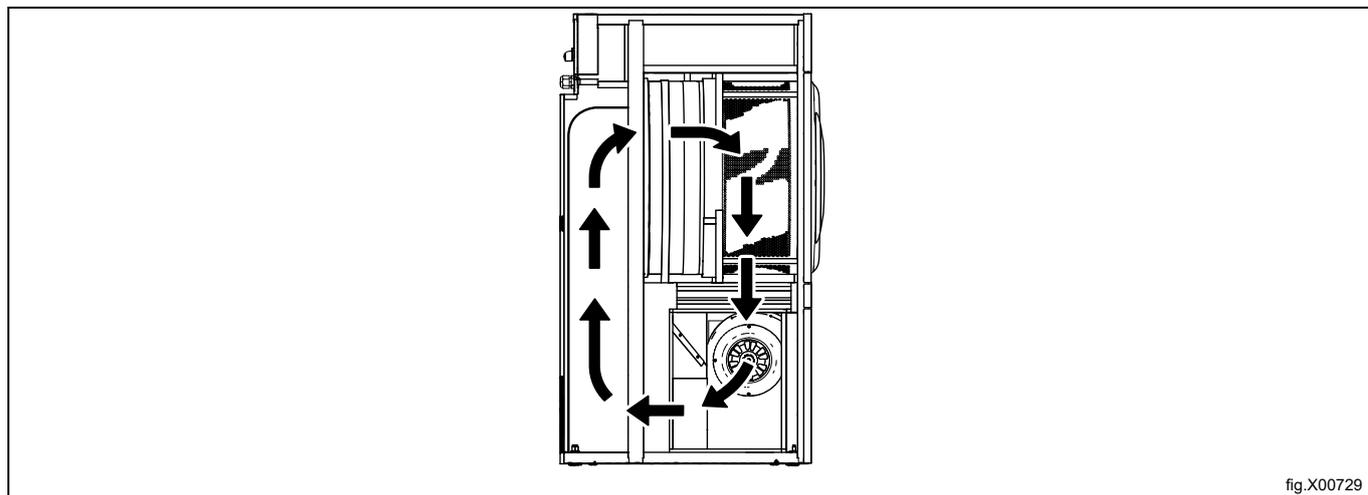


fig.X00729

部屋の換気

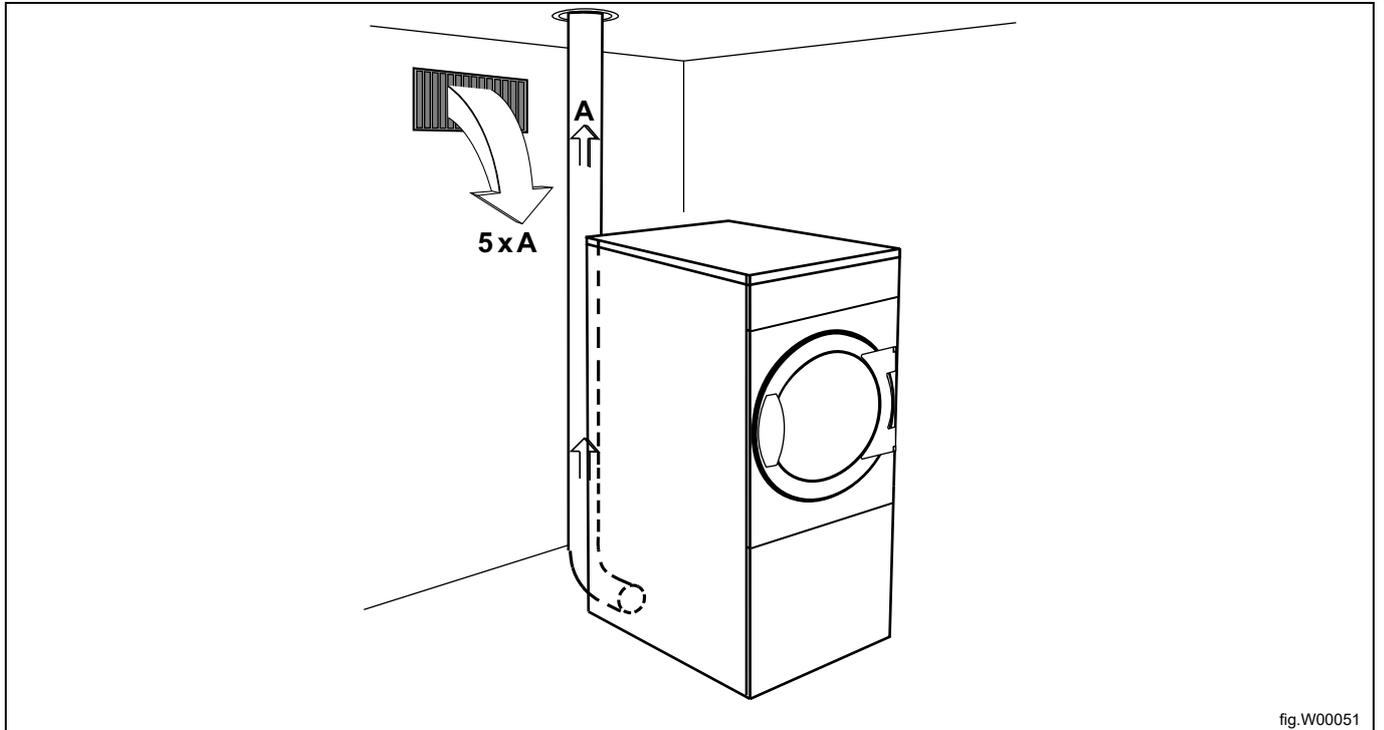
機械の動作中、室内の温度が上昇します。このため、部屋を十分に換気する必要があります。同じ部屋で動作している機械の数が増えると、よりこまめに換気する必要があります。

6.2 外気

最大の効率を得て、乾燥時間をできるだけ短くするには、部屋から排出される空気量と同量の外気を確実に部屋に取り込めるようにすることが重要です。

部屋内での通風を避けるために、空気の入り口を機械の後ろに置くことが重要です。

空気の入り口の開口エリアは、通気口管エリアのサイズの5倍あることが推奨されます。空気の入り口の開口エリアは、格子 / 薄板カバーからの抵抗なしに空気が流れることのできるエリアです。

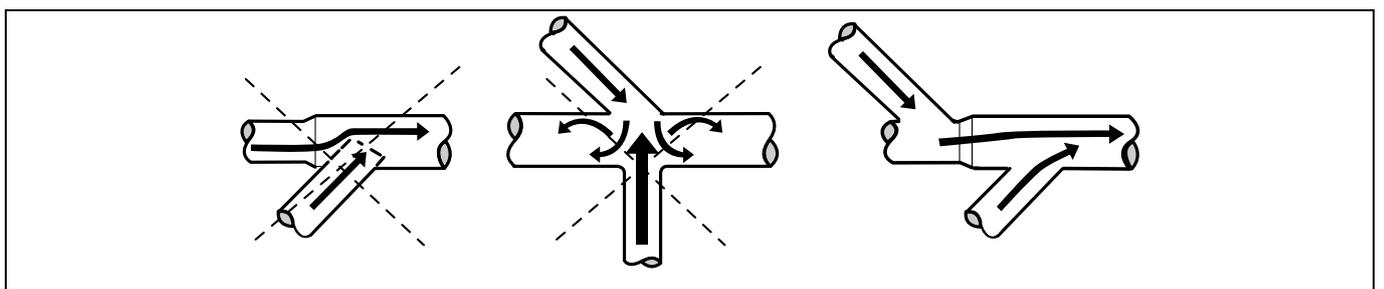


注

格子やカバープレートなどは、往々にして外気供給口の半分を遮蔽してしまいます。ご注意ください。この点を考慮に入れることをお忘れにならないよう願います。

6.3 排気管

- ・ 排気ダクトには、頑丈でフレキシブルな金属ダクトを使用してください。
- ・ プラスチックダクトは使用できません。
- ・ 排気管の推奨材質は垂鉛メッキスチールです。
- ・ ダクトをネジやその他の固定具で組み立てるべきでないのは、繊維くずが詰まってしまうためです。
- ・ 排気エアは、壁、天井あるいは建物の密閉空間へ向かって排出してはいけません。
- ・ 水蒸気から発生する水滴により建物へダメージが起こる可能性を避けるため、排気管は建物から距離を開けて配管する必要があります。
- ・ 排気管は、外部につながれていることが必要です。
- ・ 排気管は、外部に対して保護されている状態で設置しなければなりません。
- ・ 排気管は、内部が滑らかであることが必要です（低空気抵抗）。
- ・ 排気管を曲げる際は、緩やかであることが必要です。



6.4 共有排気管



それぞれの機械を別々の排気管に接続することをお勧めします。

複数の機械が同じ排気管を共用する場合、それぞれの機械に対し、排気管を大型にする必要があります。推奨半径は、先に進むに従い、テーブルの大きさに従って徐々に大きくなっていきます。

同じ排気管に複数の機械が取り付けられている場合は、すべての機械を始動して熱を出さずにプログラムを実行するときに、機械の空気の流れを調整することをお勧めします。(AFC(アダプティブファンコントロール)が取り付けられている機械には使用できません。)

必要以上に大きなダクトは、通風に問題を引き起こすことを覚えておいてください。

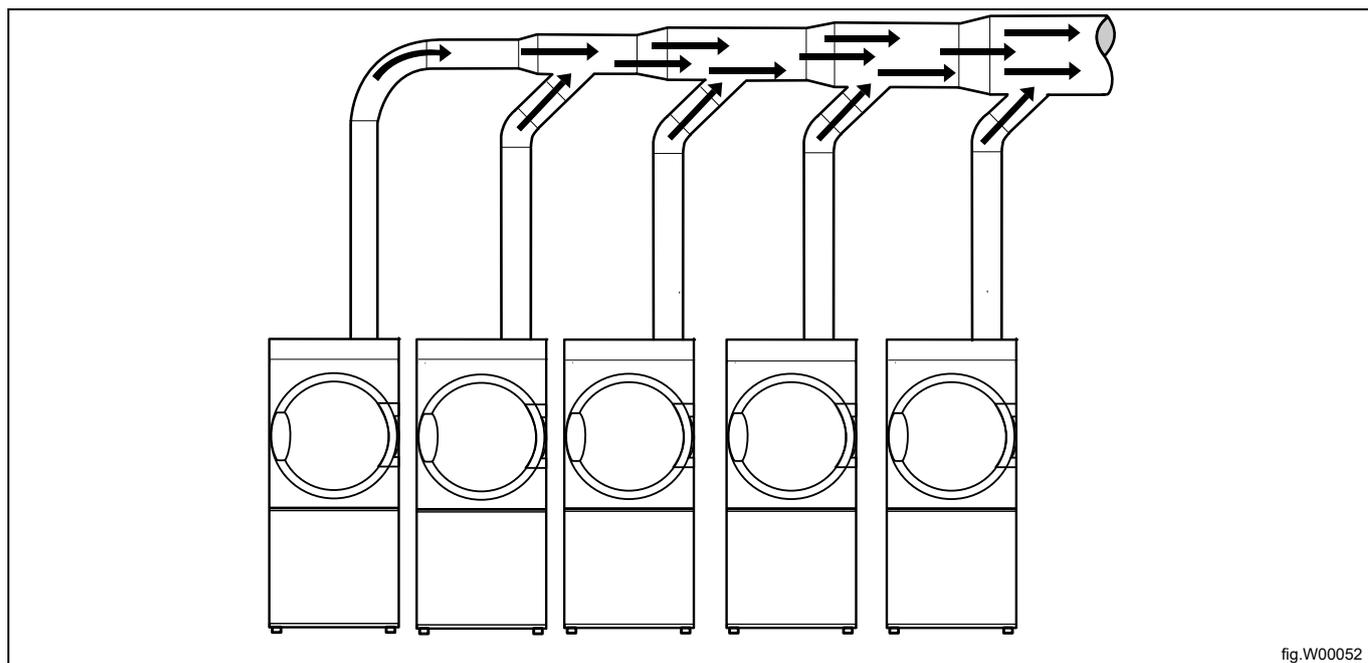


fig.W00052

機械の数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
排気管	φ mm	200	315	400	400	500	500	630	630	630	800
外気取り入れ口の推奨エリア	m ²	0.16	0.39	0.63	0.63	0.98	0.98	1.56	1.56	1.56	2.51
外気取り入れ口の最小エリア	m ²	0.117	0.234	0.351	0.468	0.585	0.702	0.819	0.936	1.053	1.17



排気管の直径を小さくしてはいけません。

6.5 排気関連の寸法

機械には、標準出力に見合った適正な空気量を供給することが大切です。

空気の流れが弱かったり、また強すぎたりすると、乾燥時間が長くなるか、機械の性能が低下します。

排気パイプが長い、通気的设计が正確でない場合、定期的に排気パイプを清掃することを推奨します。通常、ダクトが長い場合には、頻りに清掃する必要があります。出口の排気管の背圧が高すぎる場合は、排気扇風機を取り付けることをお勧めします。

機械が最適に機能するよう、排気パイプは短いものであることが必要です。

機械が最適に機能するためには、全てのカバーパネルが搭載されていることが必要です。

NTCセンサーの穴で測定される静的な背圧が「技術データ」で指定されている最大許容背圧を超えないように、排気ダクトを設計する必要があります。

6.6 風量の調整 (加熱ポンプが装備されている回転式乾燥機では無効)



風量の調整は、有資格者のみが作業できます。

本機械は、それぞれの機能に見合った正確な空気量を持つことが大切です。風量が最低を下回っている場合、機械は強制的に加熱を切り、その結果、乾燥時間が長くなる場合があります。

必要以上の風量は無用で、その結果洗濯室が冷え、パイプおよび排気から騒音が発せられる場合があります。極端な場合、その結果、乾燥時間が長くなる場合があります。

機械は、パイプの長さに相当する15mまでの、最適な風量にあらかじめ設定されています。(工場出荷のデフォルト設定については、ダンパーに添付されているラベルを確認してください。)あらかじめ設定されているパイプの長さから逸脱しているパイプシステムに関しては、次の指示に従って機械を調整する必要があります。

- フィルタードローを取り外し、次にフロントパネルを取り外します。
- 背面パネルを取り外します。

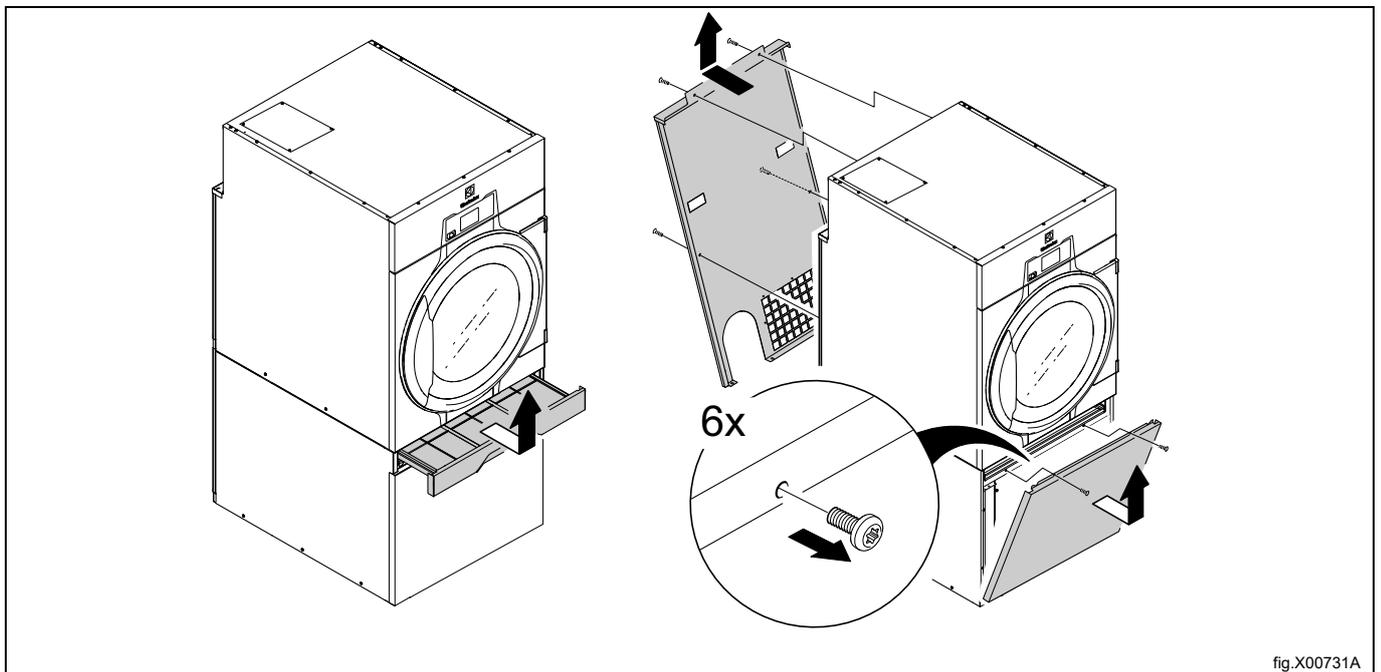


fig.X00731A

- 下部側面パネルを取り外します。

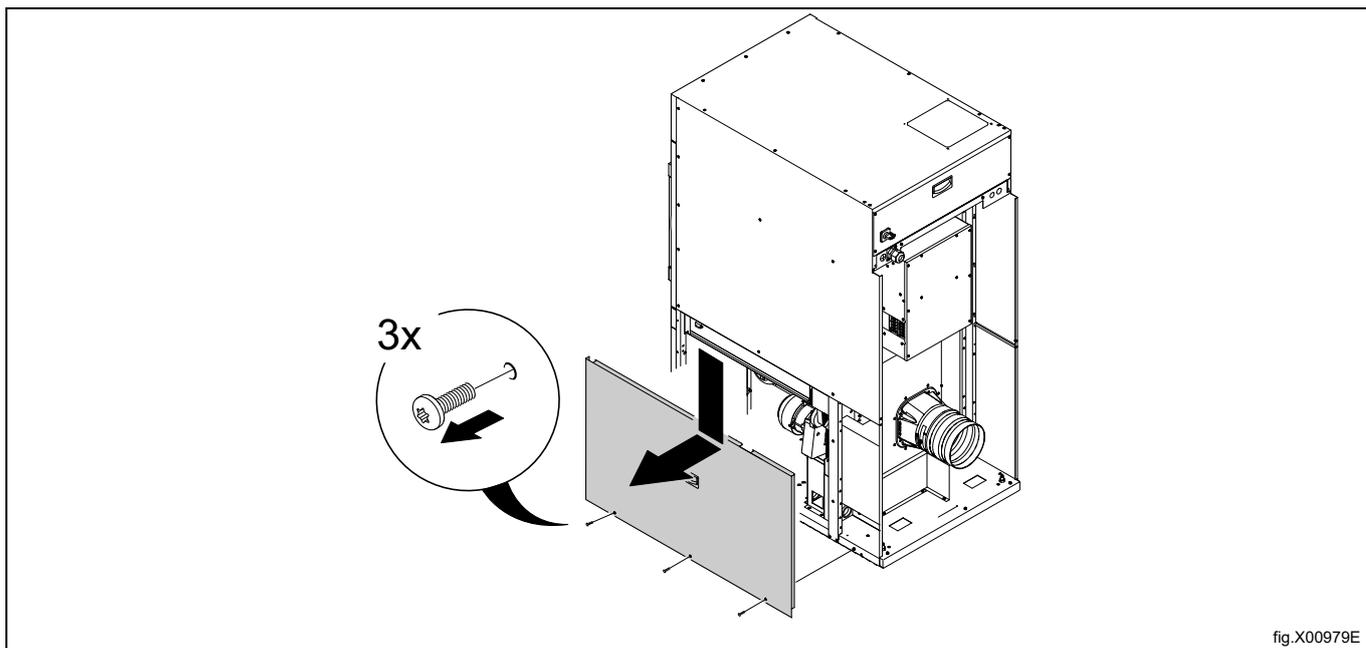


fig.X00979E

- NTCセンサーと接続切断します。

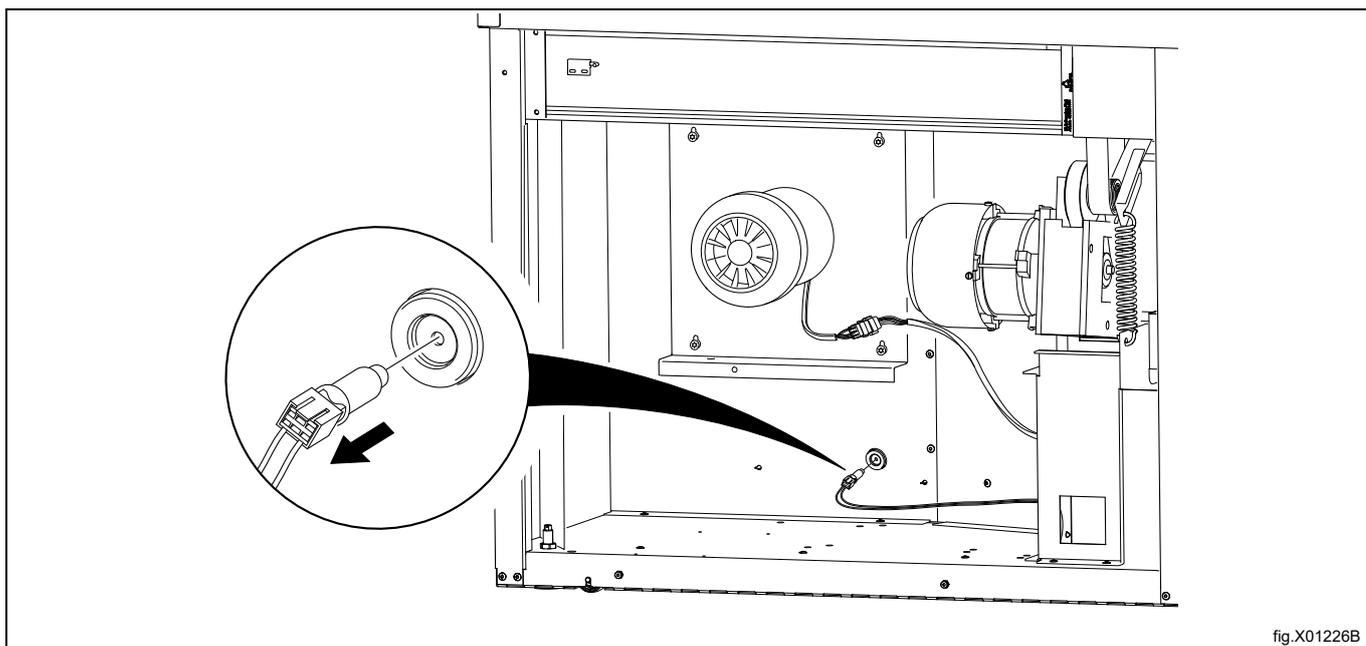


fig.X01226B

測定装置 (マンメーター) を穴 (A) に挿入します。空気漏れを防ぐため、接続部分が固く閉められていることを確認してください。チューブを穴を通して機械の背面を回し、ドラムモーターの右へ渡します。

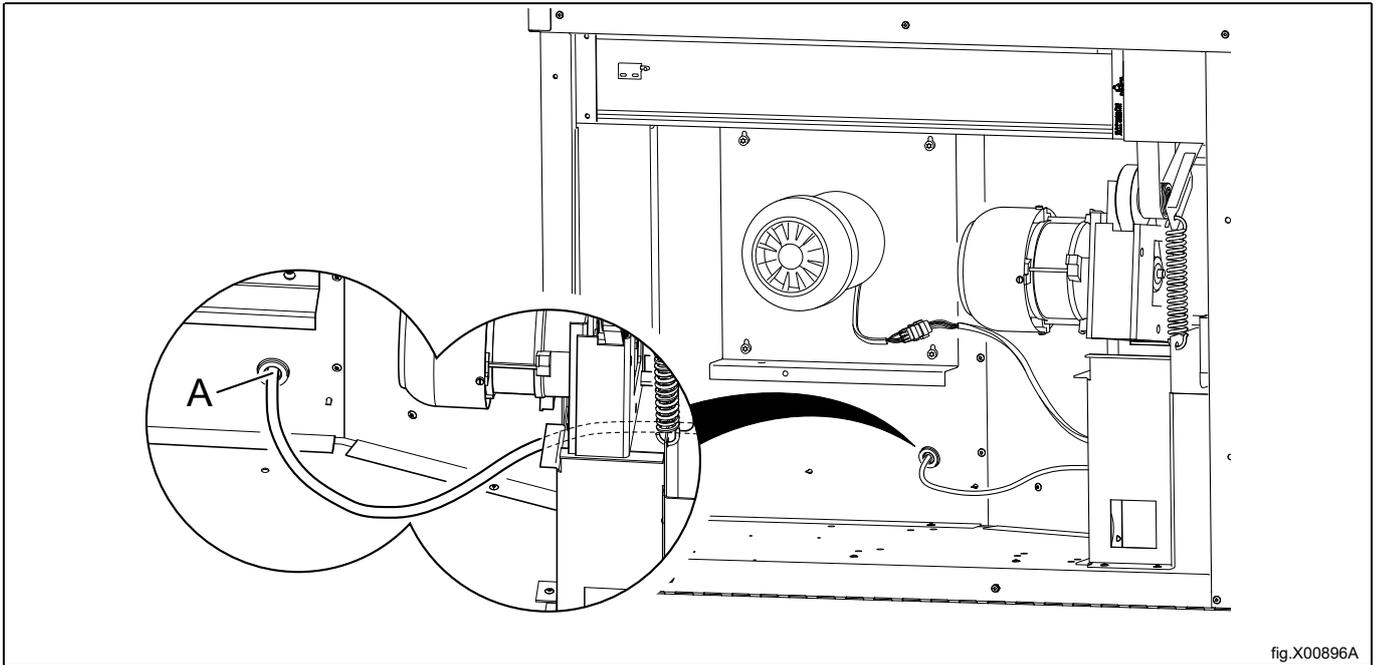


fig.X00896A

- ダンパー (B) のウイングナットを緩めます。
- 熱なしで、ドラムが空の状態のプログラムで機械が作動している時に測定します。
- ダンパー (B) を開閉することにより穴 (A) の圧力が増減し、従って流量が増減します。

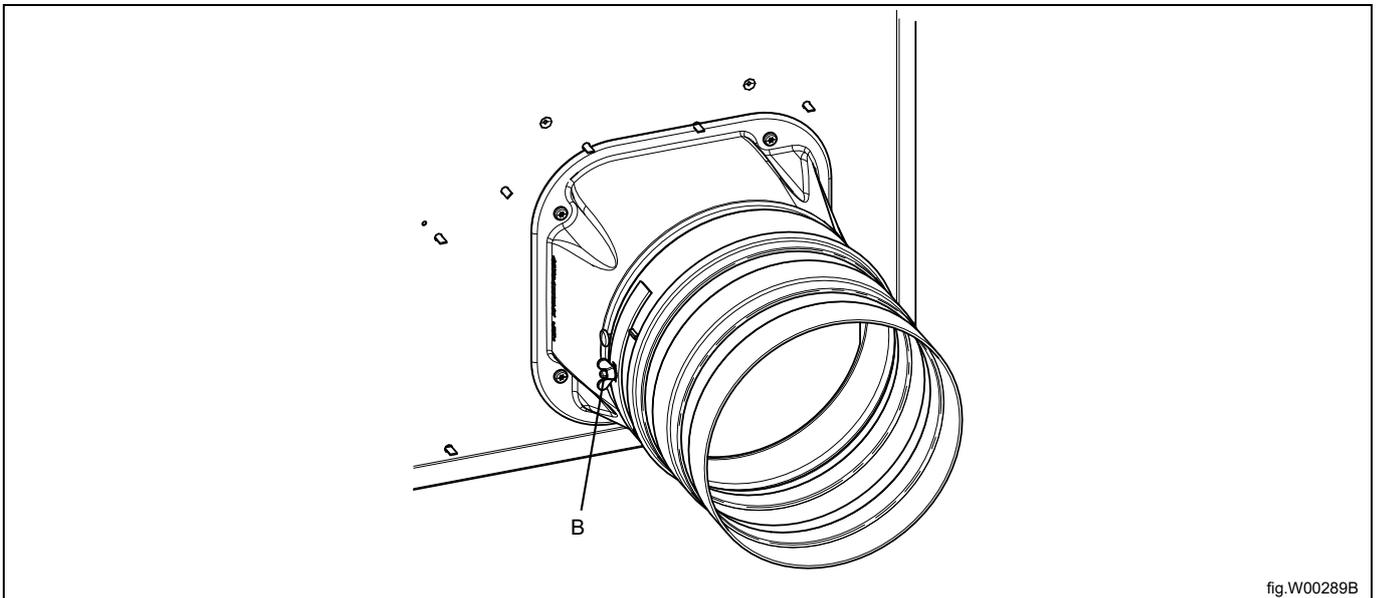


fig.W00289B

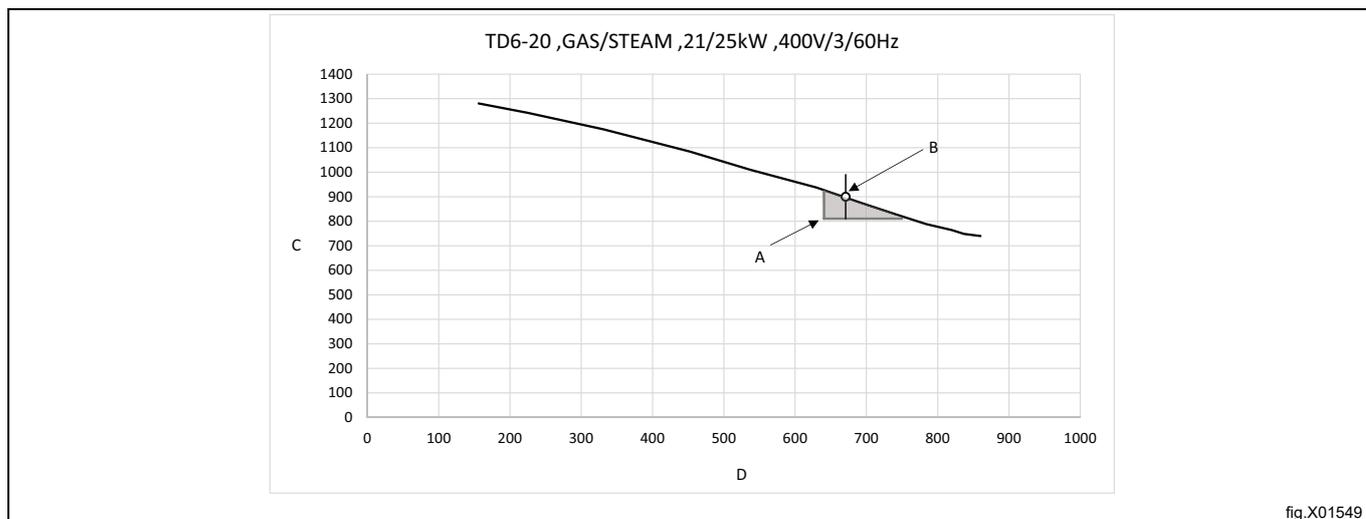
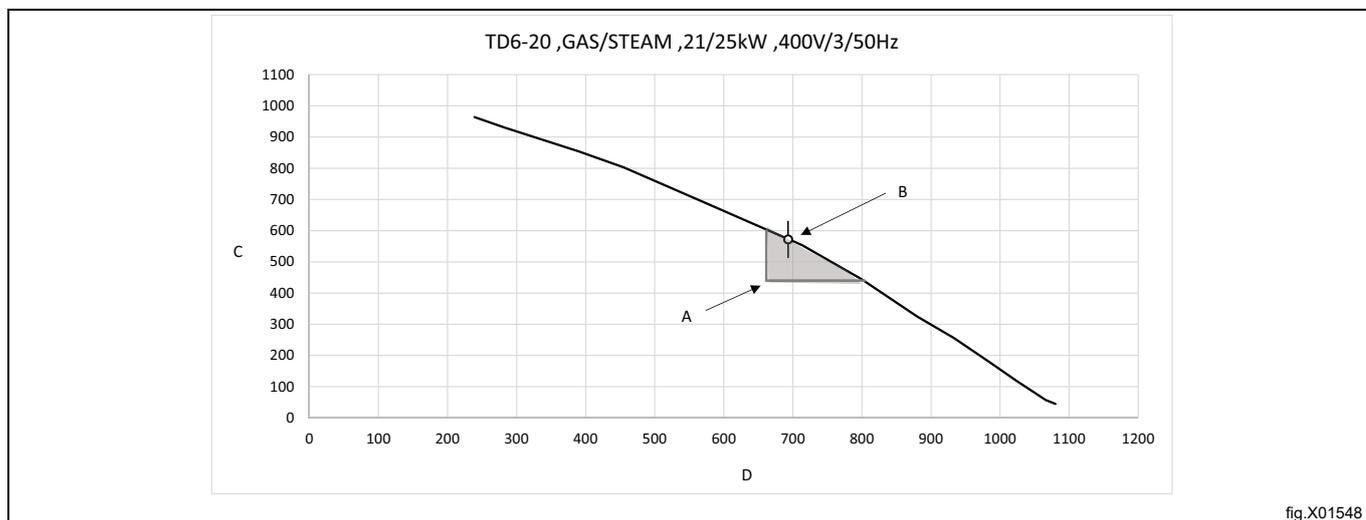
測定された静的背圧が次の表に掲載されている値に該当する場合、最適な乾燥能力に達します。

加熱	能力	Hz	最適な静的背圧 — 機械が冷えて空の状態でのポジション A (Pa) で測定	結果 : 機械が冷えて空の状態の公称風量 (m ³ /h)
電気	13.5 kW	50	690	470
電気	13.5 kW	60	890	470
電気	18.0 kW	50	580	580
電気	18.0 kW	60	885	580
ガス	21.0 kW	50	570	690
ガス	21.0 kW	60	900	670
蒸気	25.0 kW	50	570	690
蒸気	25.0 kW	60	900	670

減圧曲線図

灰色の領域 (A) は最適な作業エリアを示しています。

A	作業エリア
B	最適気流冷却空機械
C	対圧、Pa
D	気流 m ³ /h



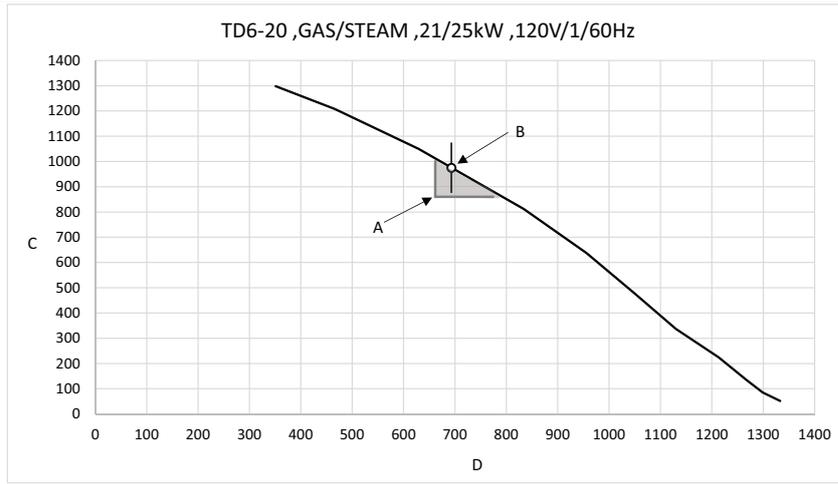


fig.X01550

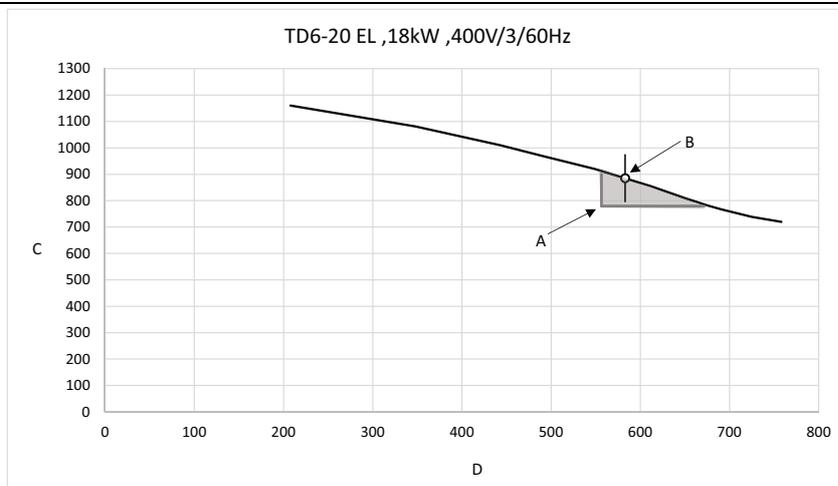


fig.X01551

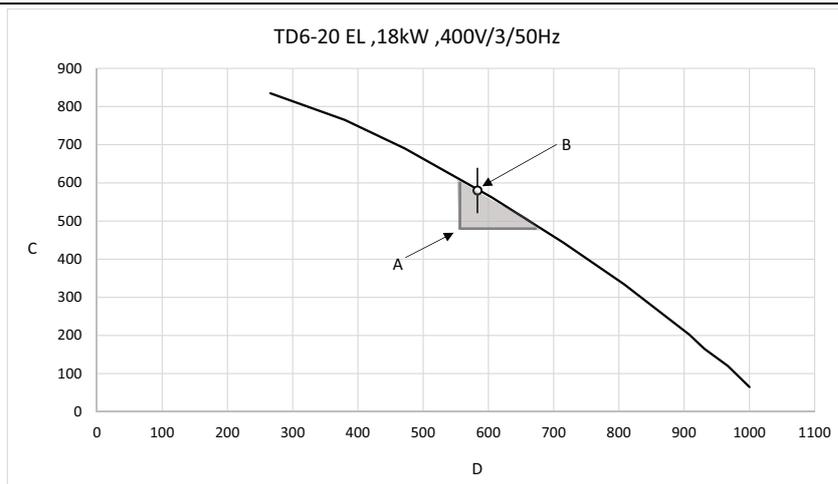


fig.X01552

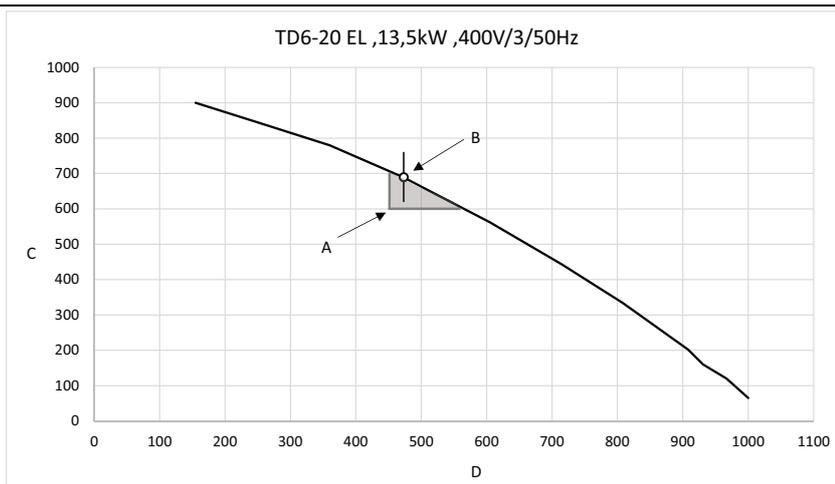


fig.X01553

別の測定方法



風量の調整は、有資格者のみが作業できます。



自家製のU字管マンノメータ、ホース (最大外径 ϕ 10 mm、最小外径 ϕ 5 mm) で水を使用します。ホースの一方の端を穴 (A) に差し入れ (NTCセンサーを取り外した後)、図のように水が水平になるようにホースの位置を固定します。機械を始動して、ホースの片方の端ともう一方の端で水の差を測定します。

1 mm = 10 Pa

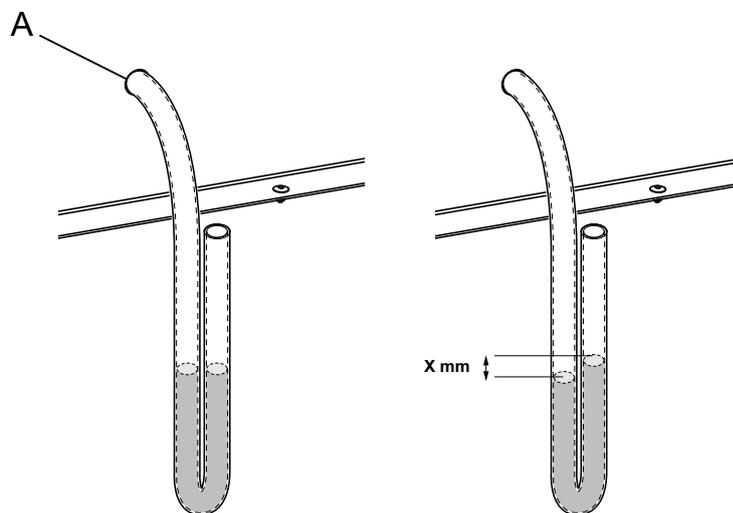


fig.7528B

注

風量を調整したら、再びNTCセンサーを穴 (A) に取り付け、ダンパー (B) を新しい位置にウイングナットで固定します。

フロントパネルを元通りに取り付け、フィルタードロワーを挿入します。

7 電気接続

7.1 電気関連の据付



電気系統の据付は資格を持つ人材のみが実行できます。



機械のモーターが頻繁にコントロールされていると、アース漏れ回路ブレーカのタイプによっては互換しない場合があります。機械は高度な個人の安全を提供するよう設計されており、それゆえにアース漏れ回路ブレーカのような外部装置は必要ありません。それでも機械をアース漏れ回路ブレーカを通して接続したい場合は、下記の点を念頭に置いてください。

- 技術を持つ公認の据付会社に連絡し、かならず適切なタイプのブレーカを選び、正しい寸法に作ってください。
- 操作が確実に行われるよう、アース漏れ回路ブレーカー一つにつき機械一台のみを接続してください。
- アースケーブルが正しく接続されていることが大切です。

該当機械が全極スイッチ装備されていない場合、事前にこれを据え付けることが必要です。

配線規則の順守：本機の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。

接続ケーブルはゆるやかな弧状にして掛けてください。

7.2 フェライトとの機械の接続

7.2.1 AFCまたはDSCが搭載された機械

承認されたEMCレベルを取得するには、AFC (アダプティブファンコントロール) またはDSC (ドラムスピードコントロール) を取り付けた機械に内蔵されているフェライトを使用しなければなりません。(これはそれらの機械にのみ有効であることに注意します)。

機械に接続する前に、保護接地 (PE) ワイヤをフェライトに巻きます。

表のとおり、保護接地ワイヤ(PE)が他のワイヤより長いことを確認して、電源コードを準備します。

ワイヤのサイズ	L	通し回数
AWG14 または 2,5 mm ²	280 mm	x 5
AWG12 または 4 mm ²	280 mm	x 5
AWG10 または 6 mm ²	300 mm	x 5
AWG8 または 10 mm ²	330 mm	x 5
AWG6 または 16 mm ²	400 mm	x 5
AWG4 または 25 mm ²	490 mm	x 5

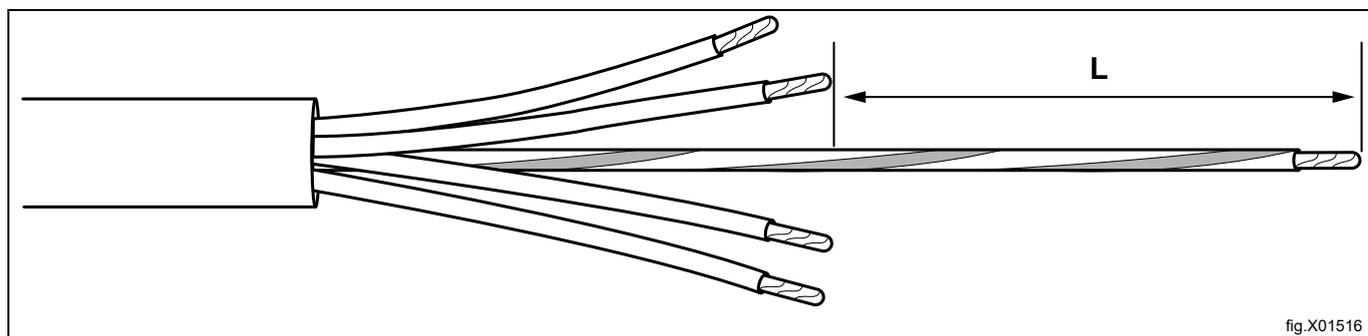


fig.X01516

表に従って電源コードを準備したら、フェライトの穴を通しながら保護接地(PE)ワイヤをフェライトに巻いてから、次の接続オプションに従ってすべてのワイヤを接続します。

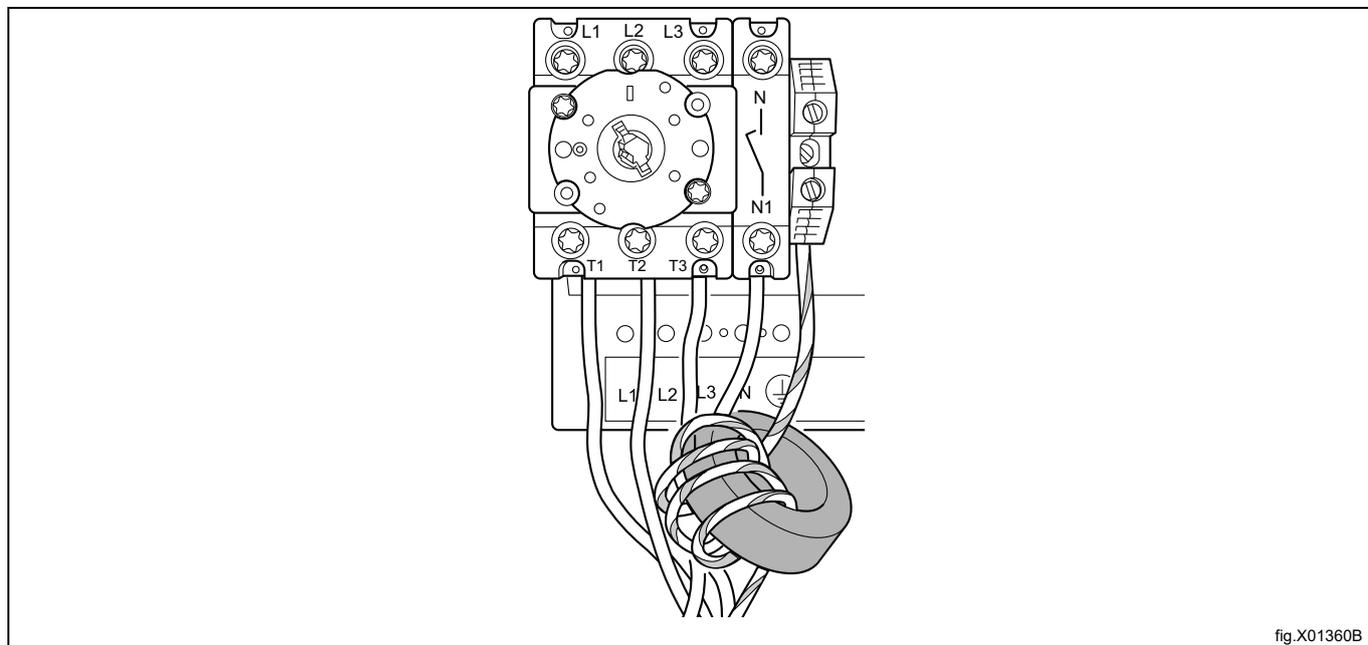
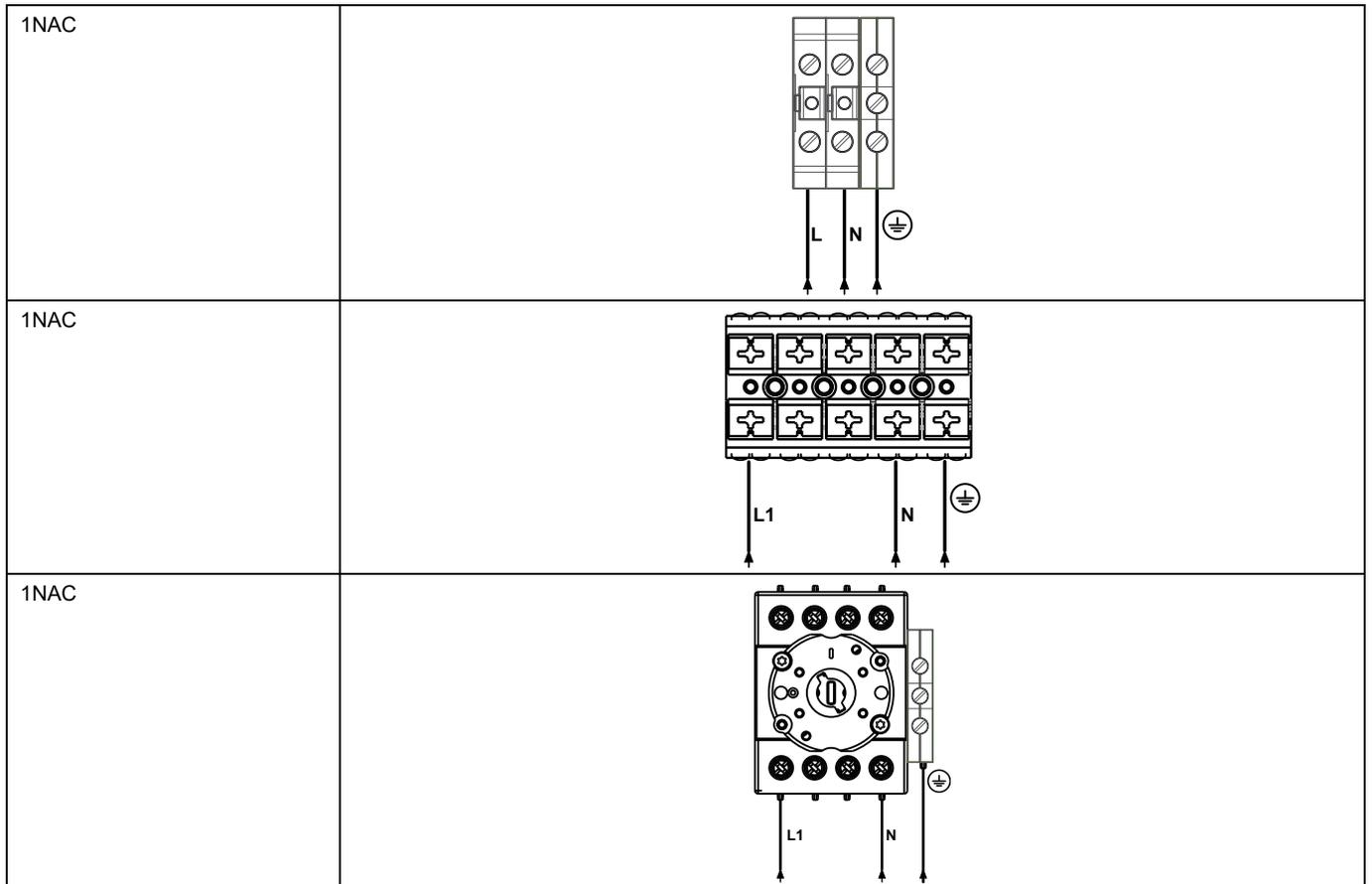


fig.X01360B

7.3 単相接続

サプライユニットのカバーパネルを取り外します。図に示されている通りに、アースを接続してください。

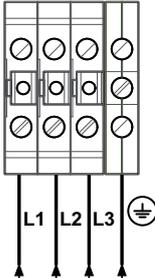
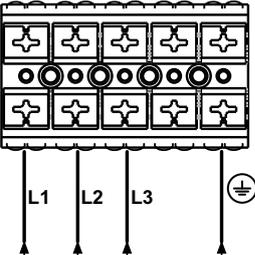
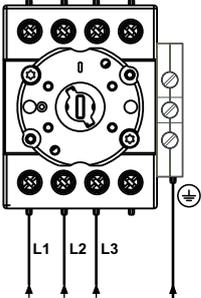
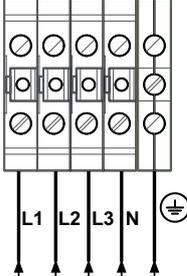
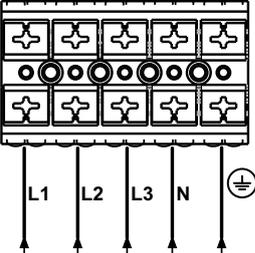
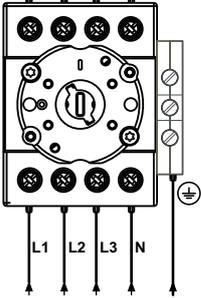


設置が完了したら、カバーパネルを再度取り付けて下記をチェックしてください。

- ドラムが空であること。
- 電源を機械に接続することで本機械が起動し、熱のあるプログラムが開始すること。

7.4 3相接続

サプライユニットのカバーパネルを取り外します。図に示されている通りに、アースを接続してください。

3AC	 <p>Diagram showing a terminal block with four columns. The first three columns have two terminals each, and the fourth column has one terminal. Labels below indicate L1, L2, L3, and a ground symbol (⊕).</p>
3AC	 <p>Diagram showing a terminal block with two rows of four terminals each. Labels below indicate L1, L2, L3, and a ground symbol (⊕).</p>
3AC	 <p>Diagram showing a terminal block with a central circular terminal and two rows of four terminals each. Labels below indicate L1, L2, L3, and a ground symbol (⊕).</p>
3NAC	 <p>Diagram showing a terminal block with four columns. The first three columns have two terminals each, and the fourth column has one terminal. Labels below indicate L1, L2, L3, N, and a ground symbol (⊕).</p>
3NAC	 <p>Diagram showing a terminal block with two rows of four terminals each. Labels below indicate L1, L2, L3, N, and a ground symbol (⊕).</p>
3NAC	 <p>Diagram showing a terminal block with a central circular terminal and two rows of four terminals each. Labels below indicate L1, L2, L3, N, and a ground symbol (⊕).</p>

設置が完了したら、カバーパネルを再度取り付けて下記をチェックしてください。

- ドラムが空であること。
- 電源を機械に接続することで本機が起動し、熱のあるプログラムが開始すること。

7.5 電気接続

加熱方式	電圧	Hz	加熱電力 kW	総電力 kW	推奨ヒューズ A
Electric heated machines	200V 3~	50/60	13.5/18.0	14.5/19.0	50/60
Gas- and Steam heated machines	200V 3~	50/60	*	1.0	10

* 総電力と推奨されるヒューズは、これらの場合の加熱電力によるものではありません。

7.6 I/O カード用機能

電気系統は以下のいずれかであるかもしれません。

7.6.1 中央支払い(2J)

中央支払いシステムから本機をスタートするには、支払いシステムは、開始パルス 300~3000 ms (500 ms を推奨)、2つのパルス間の最小パルス 300 ms (500 ms を推奨)を送信する必要があります。開始パルスは230Vあるいは24Vのいずれかが可能です。機械がスタートした際にフィードバックシグナルを受信するには、230Vまたは24Vが接続部19に接続されていることが必要です。全体のプログラムが実行されている間、接点18のフィードバックシグナルはON (高) に維持されます。

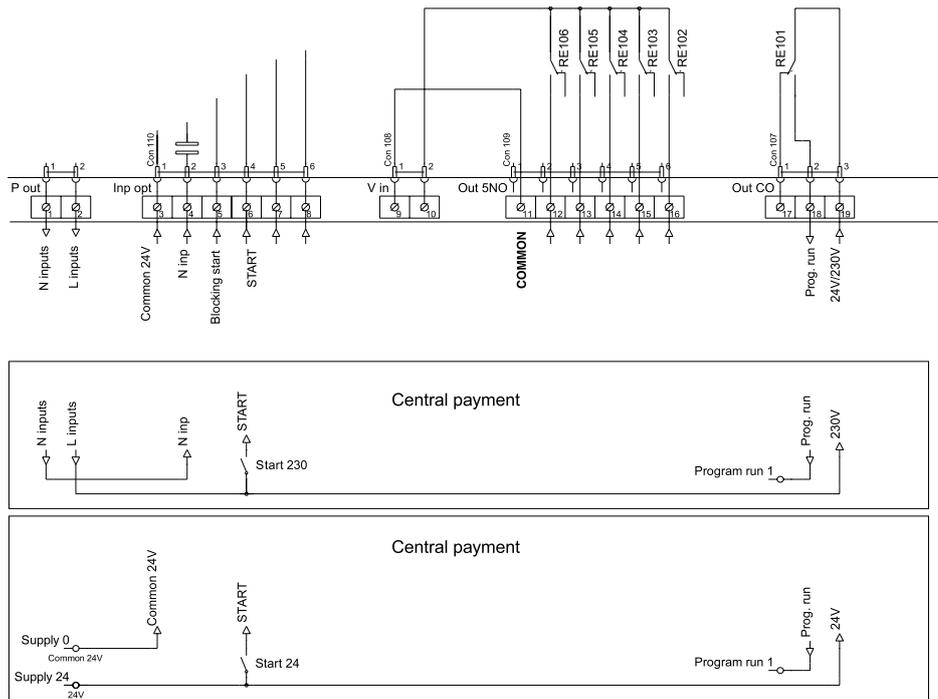


fig.7440

7.6.2 中央支払い(2J)

機械の起動が許可されると、中央支払いあるいは予約システムが、稼働(高)シグナルを送信します。乾燥注、信号は稼働状態(高)であり続ける必要があります。信号が休止中(低)になると、機械は進行中のプログラムを停止し、冷却を開始します。信号は230Vまたは24Vのいずれかになります。機械がスタートした際にフィードバックシグナルを受信するには、230Vまたは24Vが接続部19に接続されている必要があります。全体のプログラムが実行されている間、フィードバック信号はON(高)に維持されます。

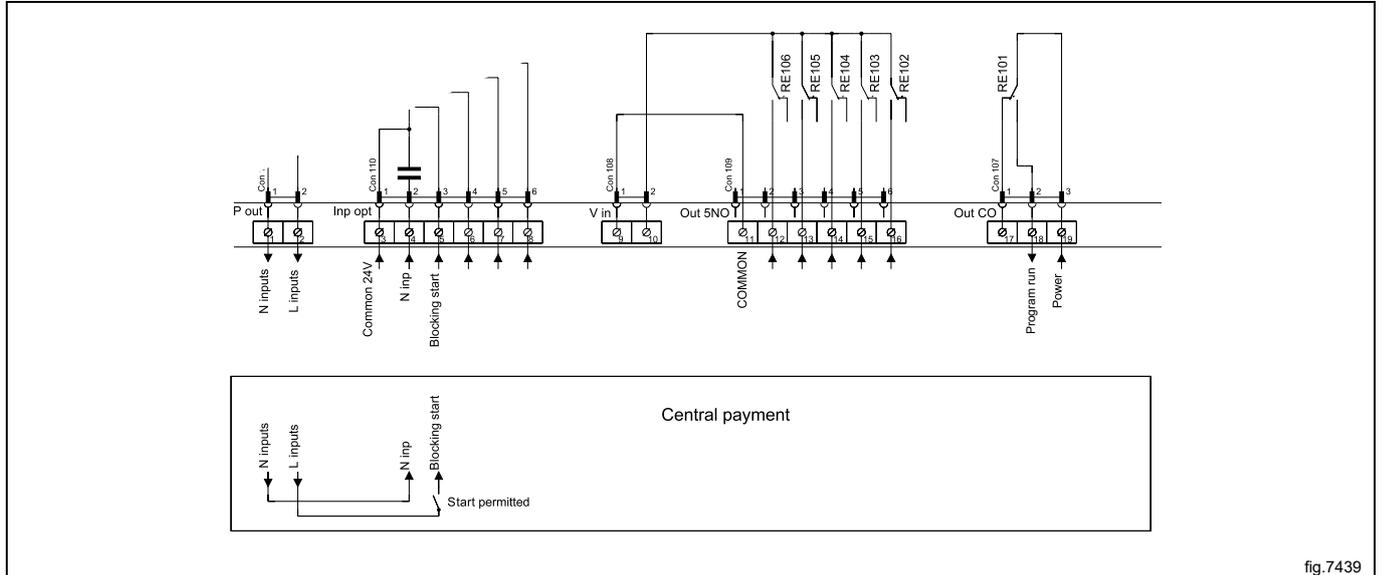


fig.7439

7.6.3 外部のコインメーター/中央支払い(2K)

外部コインメーターから受信したシグナルのパルスは 300 ~ 3000 ms (500 ms を推奨) であり、2 つのパルス間の最小パルスは 300 ms (500 ms を推奨) である必要があります。

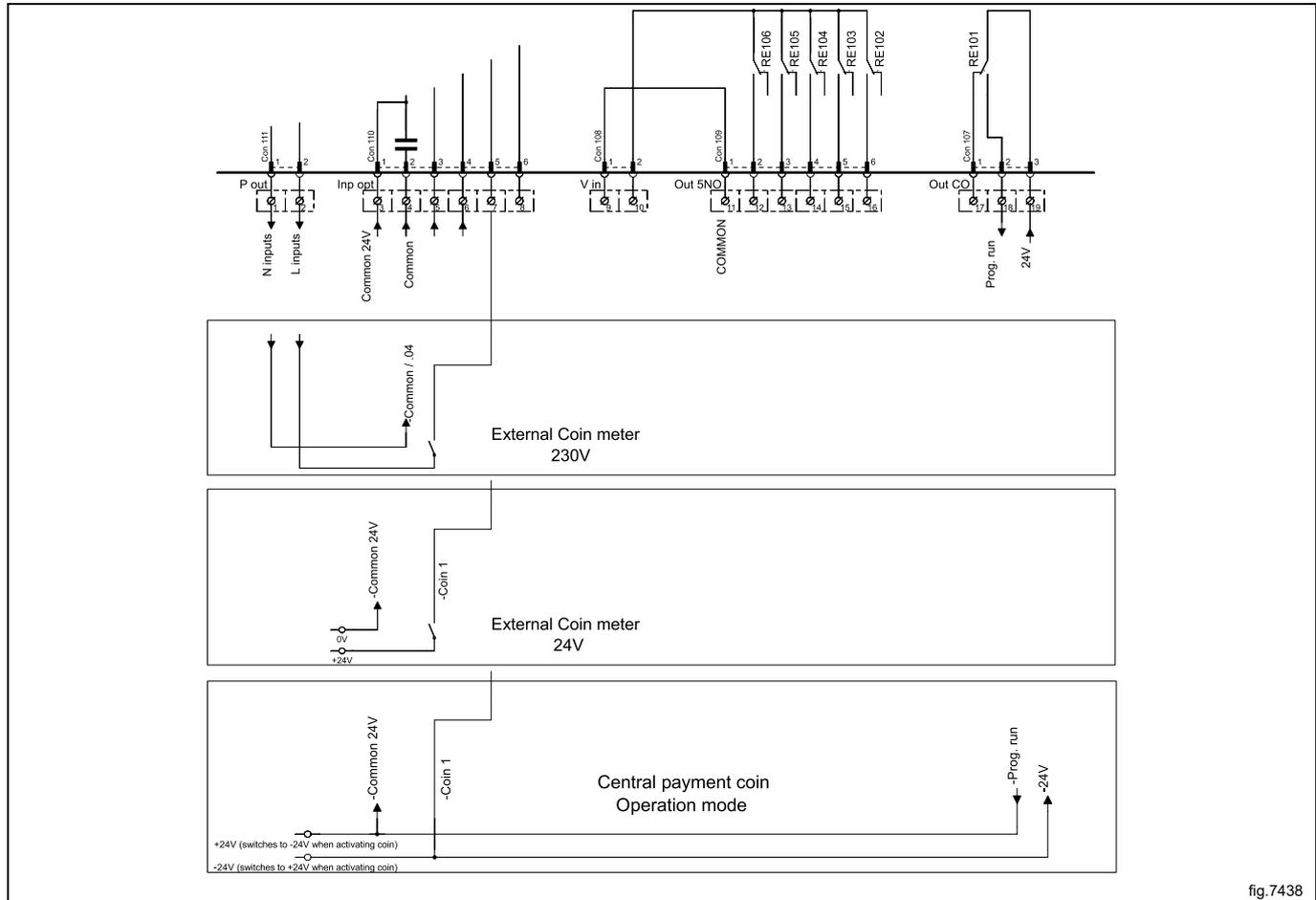


fig.7438

7.6.4 料金の軽減 (2K)

接続部5 (「価格赤」)で稼働状態(高)信号を維持することで、プログラムの料金を減少させることができます。この機能には、1日のうちの特定の時間のみ料金を下げるなど、様々な用途があります。信号が稼働状態(高)である間、価格プログラミングメニューに入力したパーセント分、プログラムの料金を減少させる (または時間プログラムの時間を増加させる) ことができます。

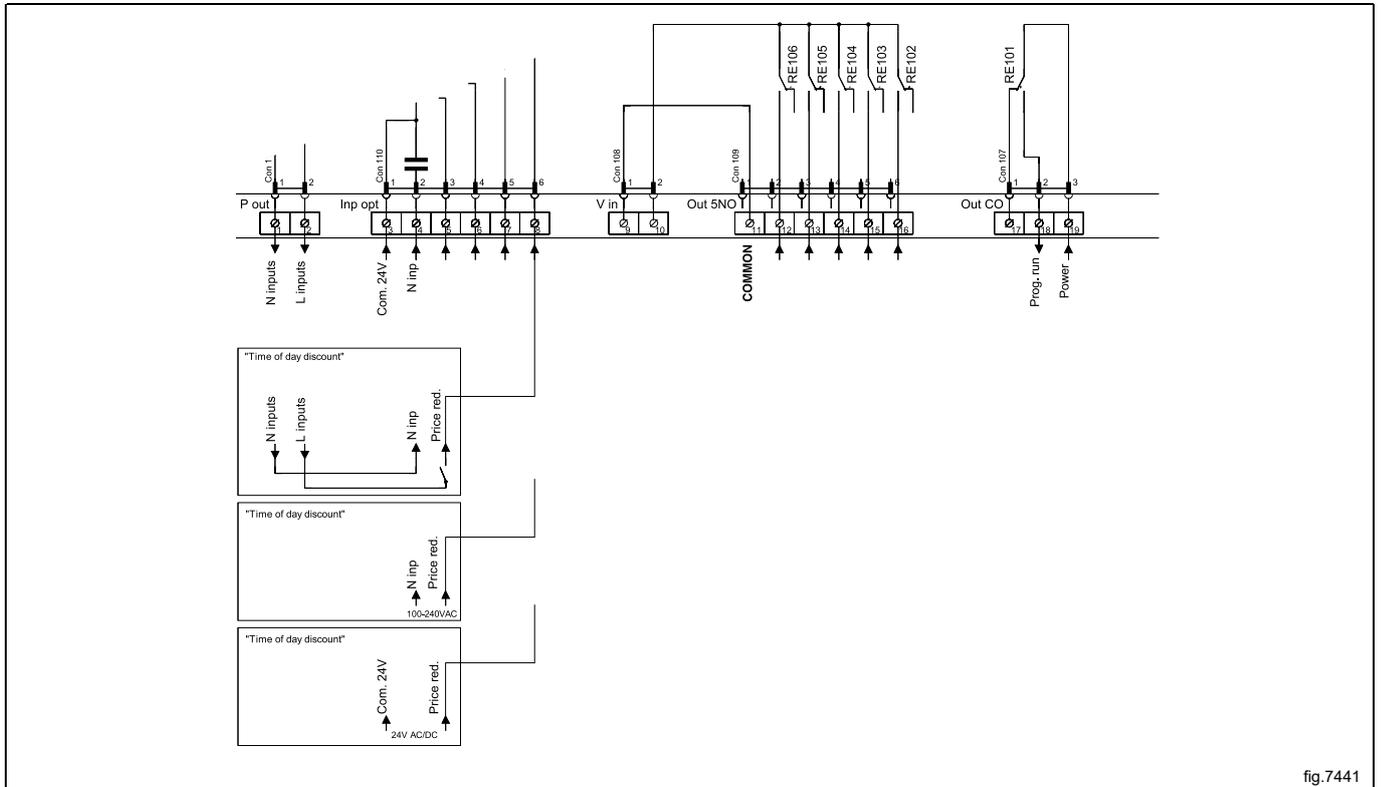


fig.7441

7.7 オプション

7.7.1 外部接続 - 100 mA

接続コンソールに外部接続用のターミナルが別途装備されています。

この接続は、ファンの外部コントロールに使うことができます。

外部制御用のターミナルは220-240V 最大100 mAで、コンタクタの稼働のみを目的としています。

最大 接続 100 mA.

Gnd. は外部基盤の接地に使用しないでください。

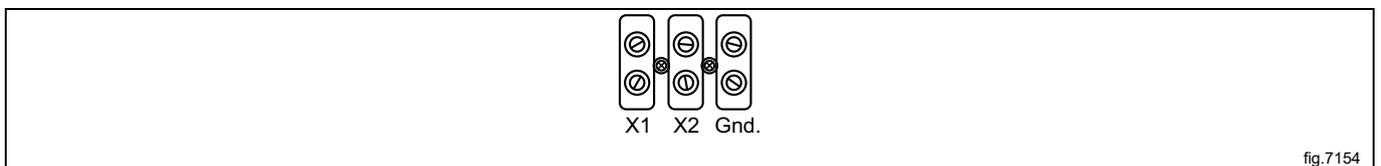


fig.7154

蒸気吸入部

- 枝管への接続は、蒸気にドレンが生じないよう、主要蒸気管の最上部から分岐してください。
- 枝管は下に向かって傾斜をつけ、供給側接続口（5）より高い位置で終わるようにしてください。
- 枝管にストップバルブ（A）とストレーナ（B）を取り付けます。
- 枝管が主管から離れすぎている場合は、蒸気品質維持のため、スチームトラップ（F）の取付をお勧めします。

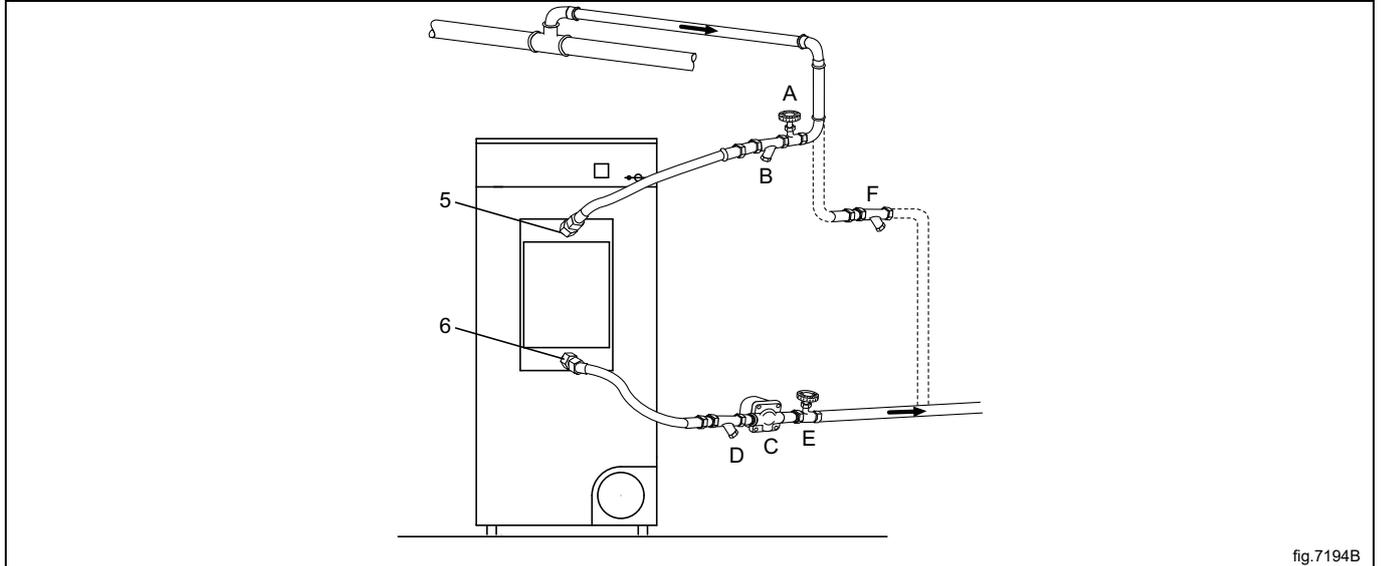


fig.7194B

耐圧ホースを機械の供給側接続口と排出側接続口につなぎます。供給側接続口と排出側接続口が変形しないよう支えることが重要です。

耐圧ホースは垂れ下がらないようにしてください。

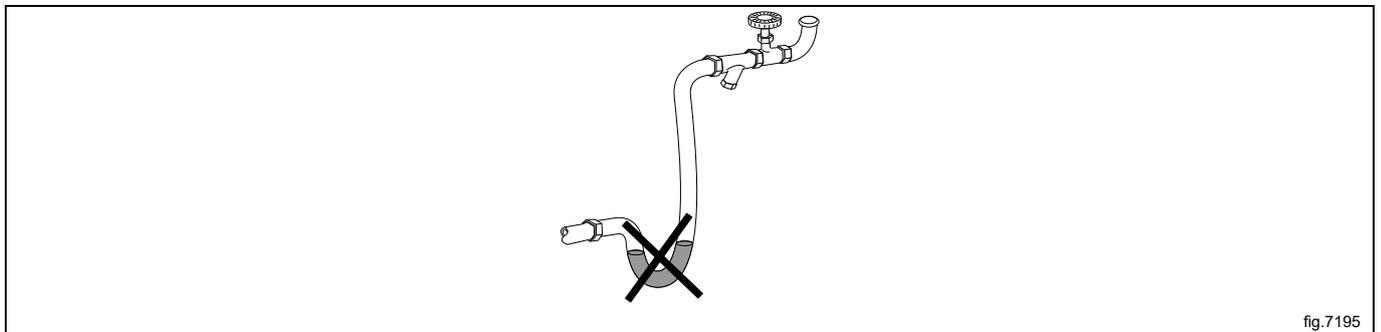


fig.7195

凝縮水の回収

メインのドレン配管に接続する戻りの枝管は、下に向かって傾斜をつけ排出側接続口（6）より低い位置にあることが重要です。

- 戻り配管にストレーナ（D）を取り付けます。
- ダストコレクター（D）の後に機械式ウォーターディスチャージャー（C）を取り付けます。
- ストップバルブ（E）を取り付けます。
- 耐圧ホースを、枝管と機械の間に取り付けてください。ホースは同梱されていませんのでご注意ください。

配管の防熱

火災発生の危険性を軽減するため、すべての配管に防熱処理が必要です。防熱を施すと、周囲への放熱による損失削減にもつながります。

準備が整ったら

- システムの漏れのテストを行います。
- ストレーナをきれいにします。

9 ガス接続

9.1 ラベルを固定します。

機械を据え付ける前に、「ユーザ説明書をお読みください」と書かれたラベルをドアの内側の適切な箇所とフロントパネルに貼り付けてください。

ラベルには国コードが正確に書かれていることが必要です。ガスキットから対応するラベルを選んでください。

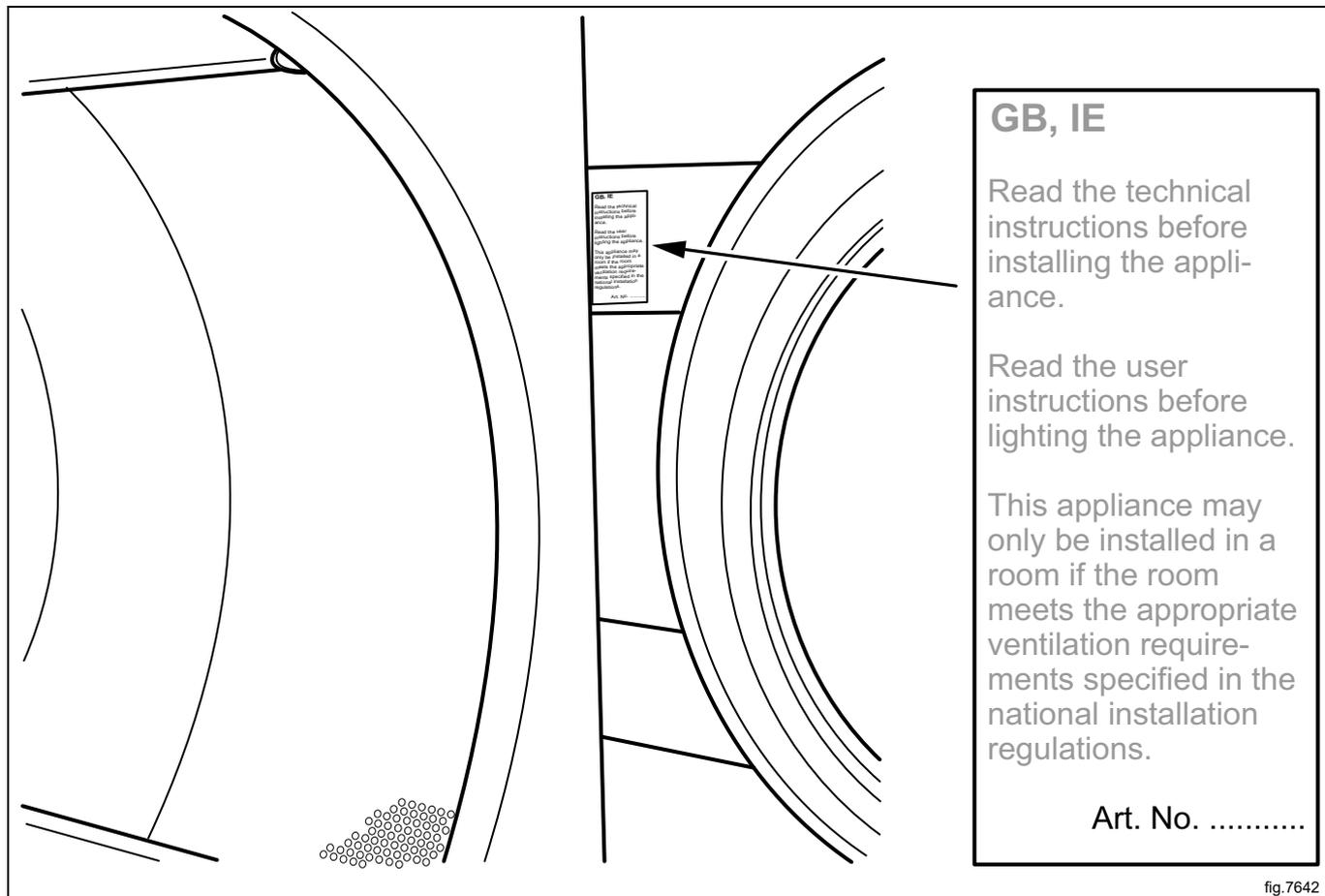


fig.7642

9.2 一般



資格を持つ人員のみが実行できます。



本機の上流に遮断弁を取り付けます。

工場出荷時のノズル圧力設定は、データラベルに示されている燃料の値に対応します。

ノズル圧力と燃料値が、次ページのガス表に示されている値に合っていることを確認してください。そうでない場合、サプライヤーにお問い合わせください。

機械を接続する前に、パイプシステムの中の空気を抜き取ってください。

注
接続後、全ての結合部を確認してください。いかなる漏れもあってはなりません。

9.3 ガスの据え付け

本ガス器具は、一般にGNHと認識される天然ガスグループ（I2HとI2E）で動くように設計されています。日本では、LPG（グループI3B/P）2800 Pa インレット圧で動作、規制なし。データラベルには、供給装置のサイズと圧力の他、このガス性状を使う国名が表示されています。

AL	アルバニア	IS	アイスランド
AT	オーストリア	IT	イタリア
BE	ベルギー	JP	日本
BG	ブルガリア	LT	リトアニア
CH	スイス	LU	ルクセンブルグ
CY	キプロス	LV	ラトビア
CZ	チェコ共和国	MK	マセドニア共和国
DE	ドイツ	MT	マルタ
DK	デンマーク	NL	オランダ
EE	エストニア	NEC	ヨーロッパ以外の国
ES	スペイン	NO	ノルウェー
FI	フィンランド	PL	ポーランド
FR	フランス	PT	ポルトガル
GB	イギリス	RO	ルーマニア
GR	ギリシャ	SE	スウェーデン
HR	クロアチア	SI	スロベニア
HU	ハンガリー	SK	スロバキア
IE	アイルランド	TR	トルコ

お住まいの場所でご利用いただけるエネルギーガスの種類を確認してください。

同じ種類でも様々なタイプのガスがありますが、機械はガスのタイプに従い、異なるノズルを装備することが必要となります。

ヨーロッパ以外の国では、エネルギーガスの発熱量を確認し、添付ラベルに示されたガスの発熱量と比較してください。

9.4 圧力・調整表

液体石油ガス	ガスの範疇	入り口圧力 (mbar)	インジェクタ 圧 (mbar)	インジェクタ のサイズ (ø mm)	減気プレート (mm)	ラベル番号	下記の国でご利用いただける場合があります
ブタンの混合 / プロパンの混合	3+	28-30 / 37	規制なし	2.30	No	490375643	BE、CH、CY、CZ、ES、FR、GB、GR、IE、IT、LT、LU、LV、PT、SK、SI
ブタン	3B/P	30、37、50	28	2.30	No	490375644	BE、CY、DK、EE、FI、FR、GB、HU、IT、LT、NL、NO、SE、SI、SK、RO、HR、TR、BG、IS、LU、MT、PL、AT、CH、DE、SK
プロパン	3P	30、37、50	28	2.40	No	490375645	FI、NL、RO、BE、CH、CZ、IE、IT、ES、FR、GR、GB、HR、LT、NL、PL、PT、SI、SK、AT、CH、DE、NL、LU、SK

天然ガス	ガスの範疇	入り口圧力 (mbar)	インジェクタ 圧 (mbar)	インジェクタ のサイズ (φ mm)	減気プレート (mm)	ラベル番号	下記の国でご利用いただける場合があります
	2H、2E	20	8	4.00	No	デフォルト	AT、BG、CZ、DK、EE、FI、GR、HR、HU、IS、IE、IT、LV、LT、NO、PT、RO、SK、SI、ES、SE、CH、TR、GB、DE、PL、LU
	2E+	20 / 25	規制なし	3.30	No	490375641	BE, FR
	2E (G20)	20	8	4.00	No	490375642	NL
	2L (G25)	25	12				
	2(43.46-45.3 MJ/m ³ (0 °C)) (G25.3)	25	12				
	2LL (G25)	20	12	4.00	No	490375642	DE

液体石油ガスの機械が設置されている、または高地 (2001フィート以上) で使用される場合、高地用のキットを設置してください。

キット番号については、スペアパーツリストを参照してください。

9.5 テスト稼働

- 4分の1回転分、計測分岐ネジ(2)を緩め、マノメーターを計測分岐ネジに接続します。
- 熱を使用するプログラムを選択します。
- 機械を起動します。
- ノズル圧を確認します。「圧力と調整表」参照してください。
- 必要であれば、カバーネジ(3)の後ろにあるレギュレーター設定ネジ(4)を調整してください。カバーネジ(3)が外れていれば、取り付けます。
- ガスが均等に燃焼していることを確認してください。

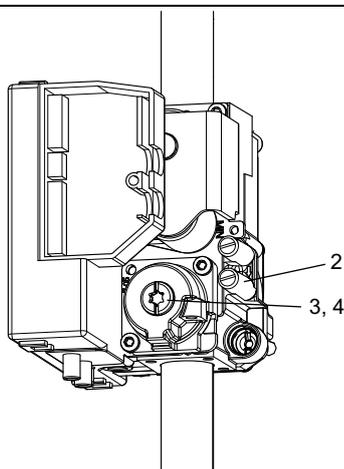
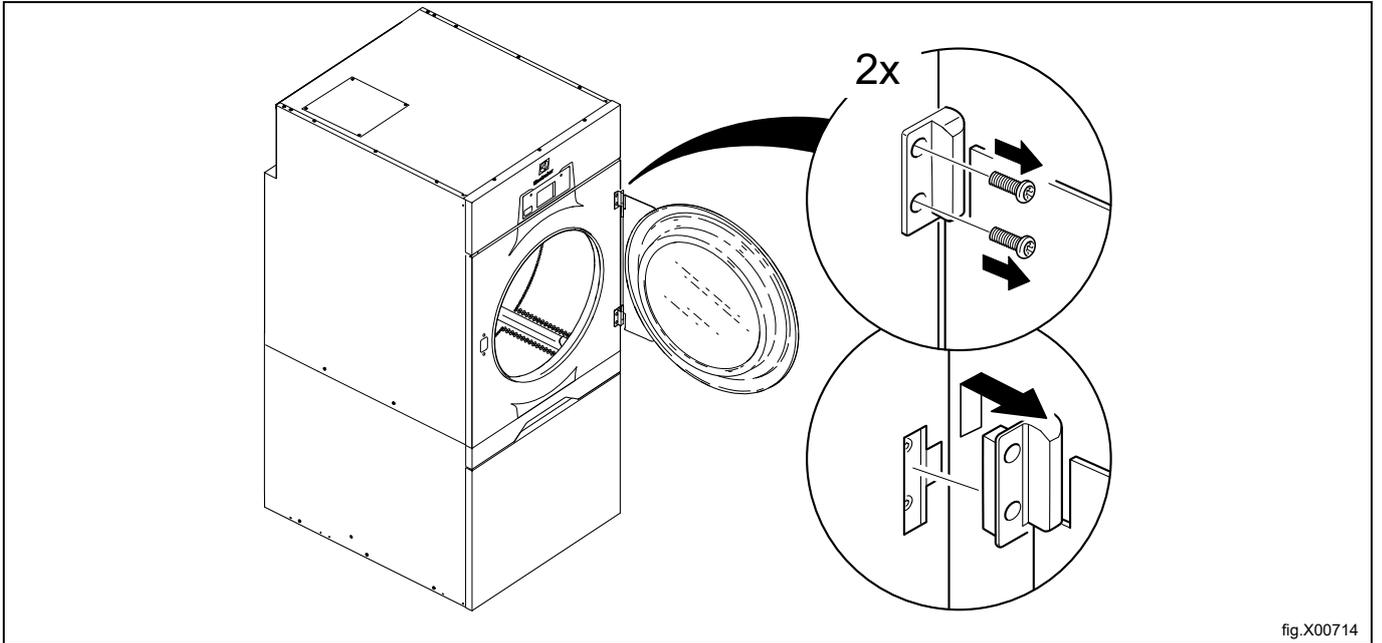


fig.7120

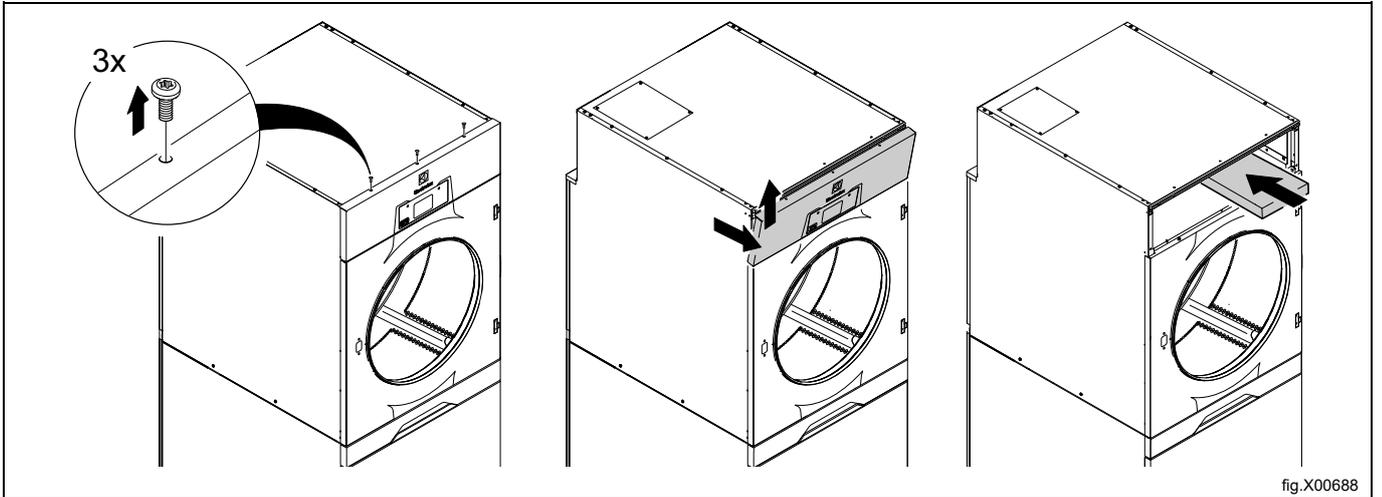
10 ドア開き方向の変更

機械の電源を切ります。

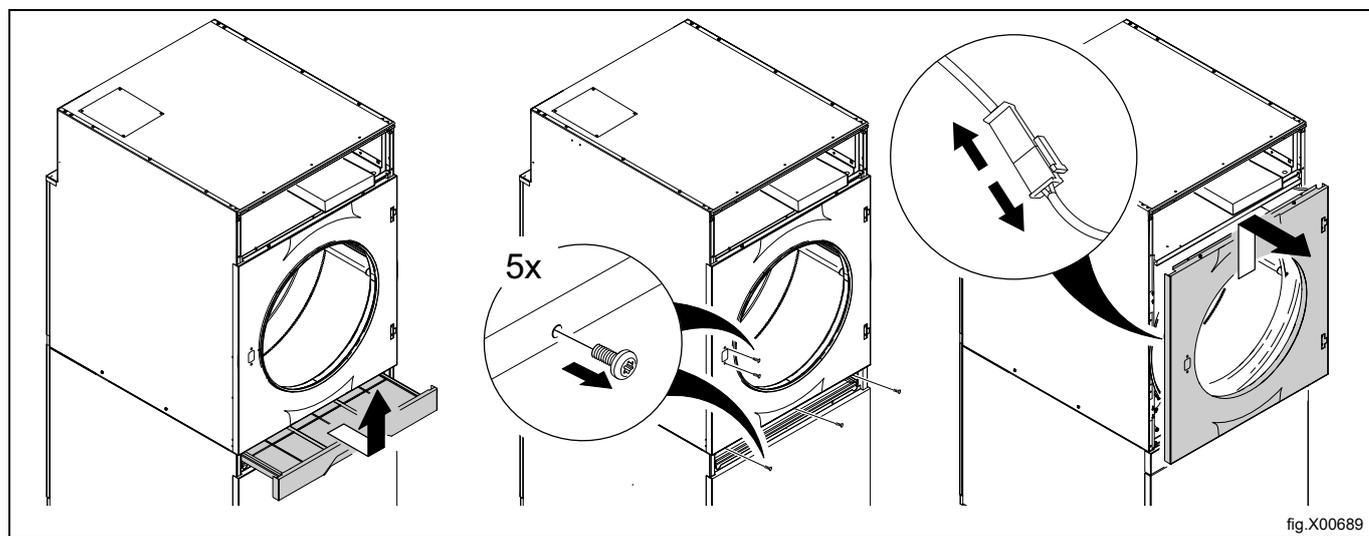
ヒンジを取り外し、ドアを取り外します。上のヒンジを最初に取り外します。



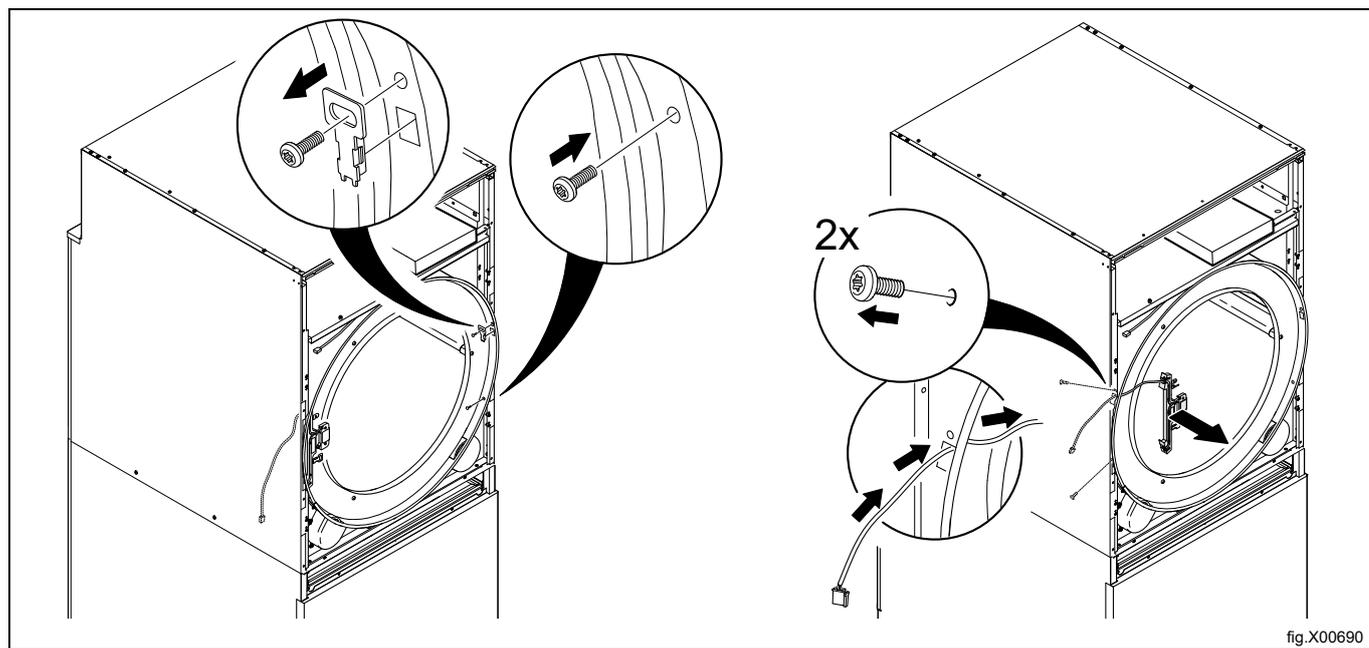
上部フロントパネルを取り外して、フロントパネルの位置の上に注意深く置きます (フロント部分を上に向けて置いてください)。ケーブルを傷つけないように注意してください。(ケーブルを取り外して、上部フロントパネルを別の場所に置くこともできます。)



フィルタードrawerを取り外します。
 ドアスイッチマグネットへのネジを取り外します。
 前面パネルを取り外します。
 ドアスイッチケーブルを外します。



右側の上部のネジ、カバー、下部のネジを取り外します。
 左側のネジを取り外して、ドアスイッチケーブルを固定しているリードスイッチブラケットを外します。穴からドアスイッチケーブルを引き出し取り外します。



リードスイッチブラケット上で、ドアスイッチケーブルを図に示すように、上部から下部へ引き出し外します。ケーブルとブロック丁番が正しい位置にあることを確認してください。

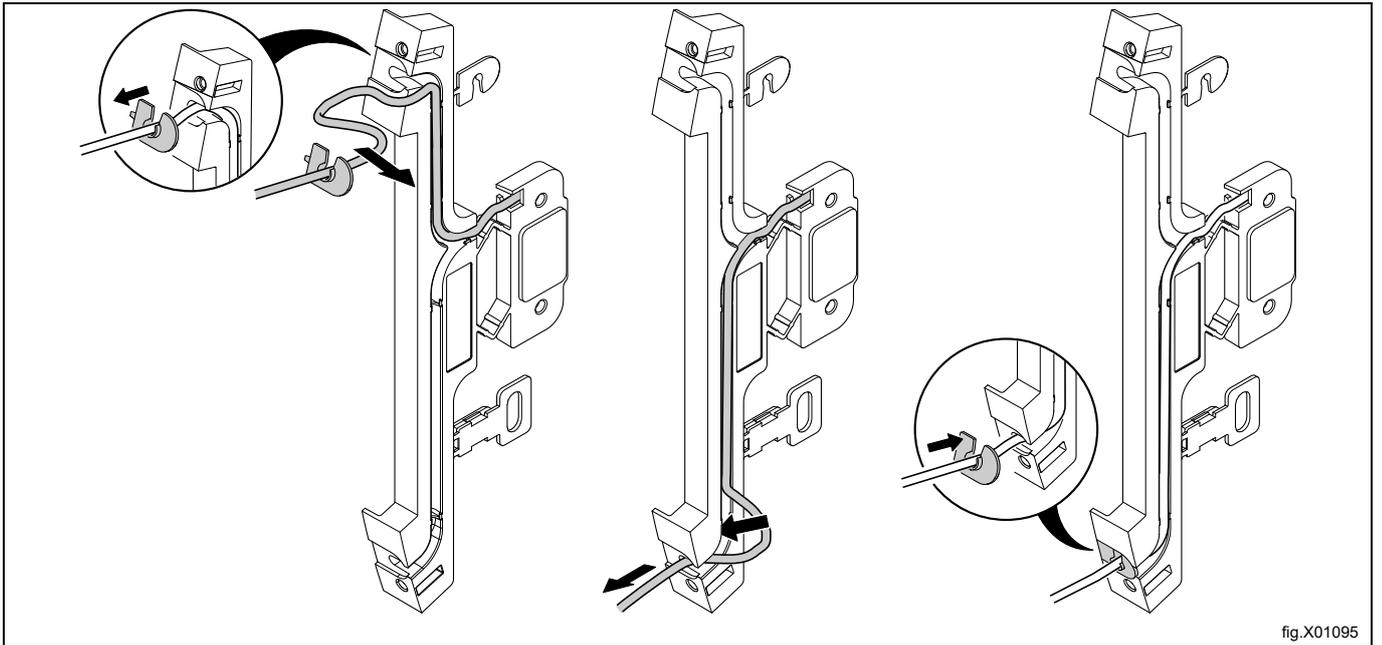


fig.X01095

リードスイッチブラケットの上下を逆にして、右側に取り付けます。ドアスイッチケーブルを穴から通して引き出し、接続します。

リードスイッチブラケットを右側にネジで留め付けます。

カバーを再び取り付け、左側の上下のネジで留め付けます。

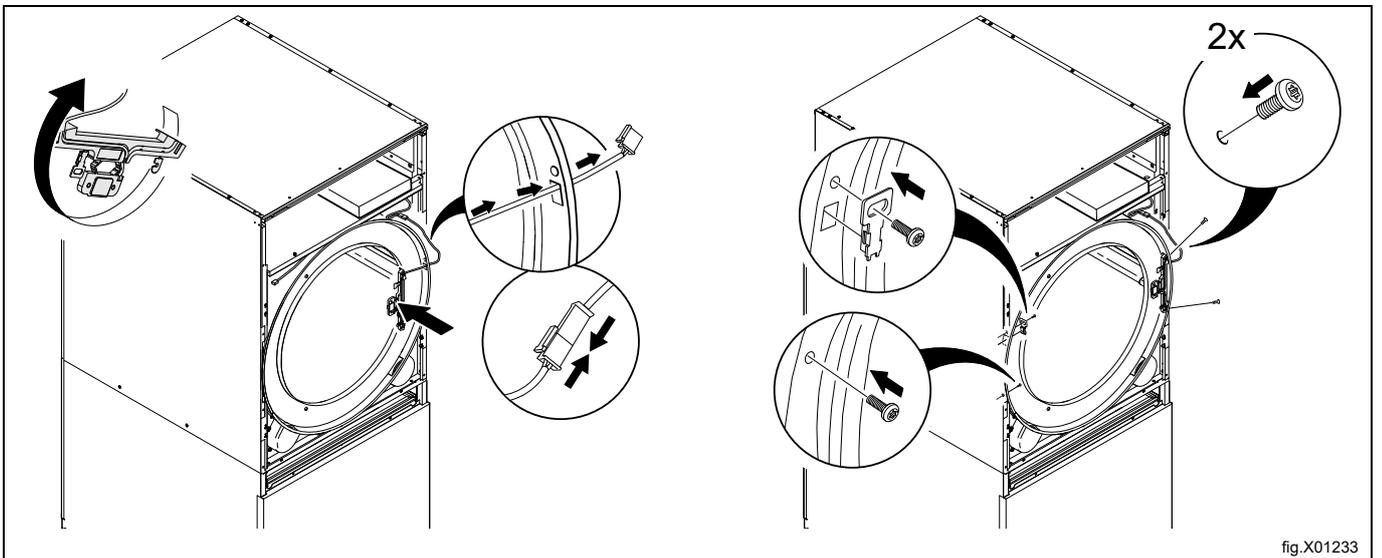


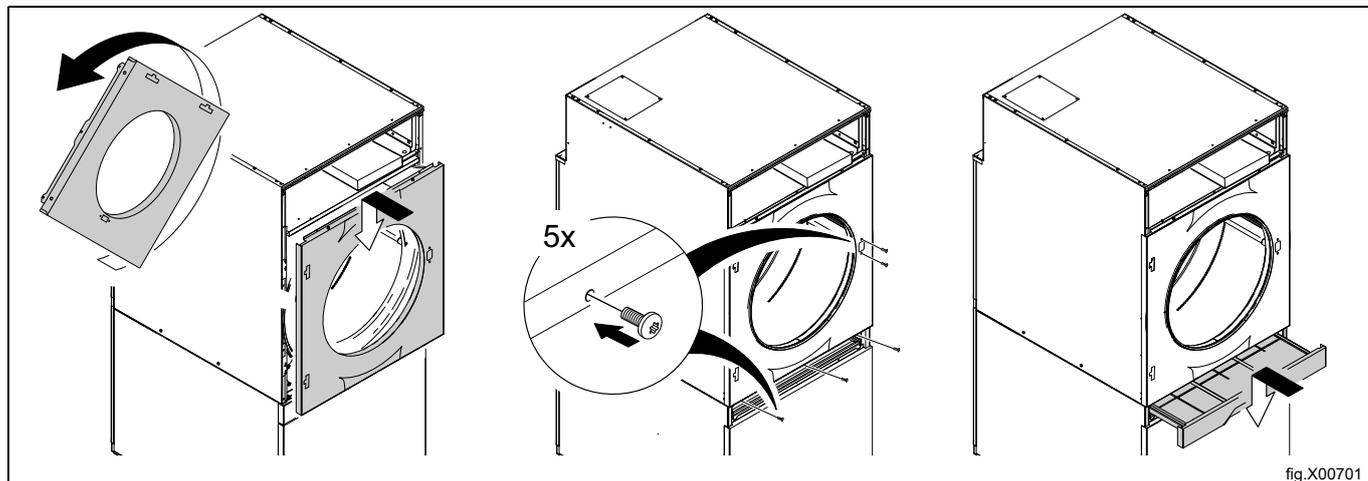
fig.X01233

前面パネルの上下を逆にして、機械に取り付けます。
ドアスイッチマグネットへのネジを留め付けます。

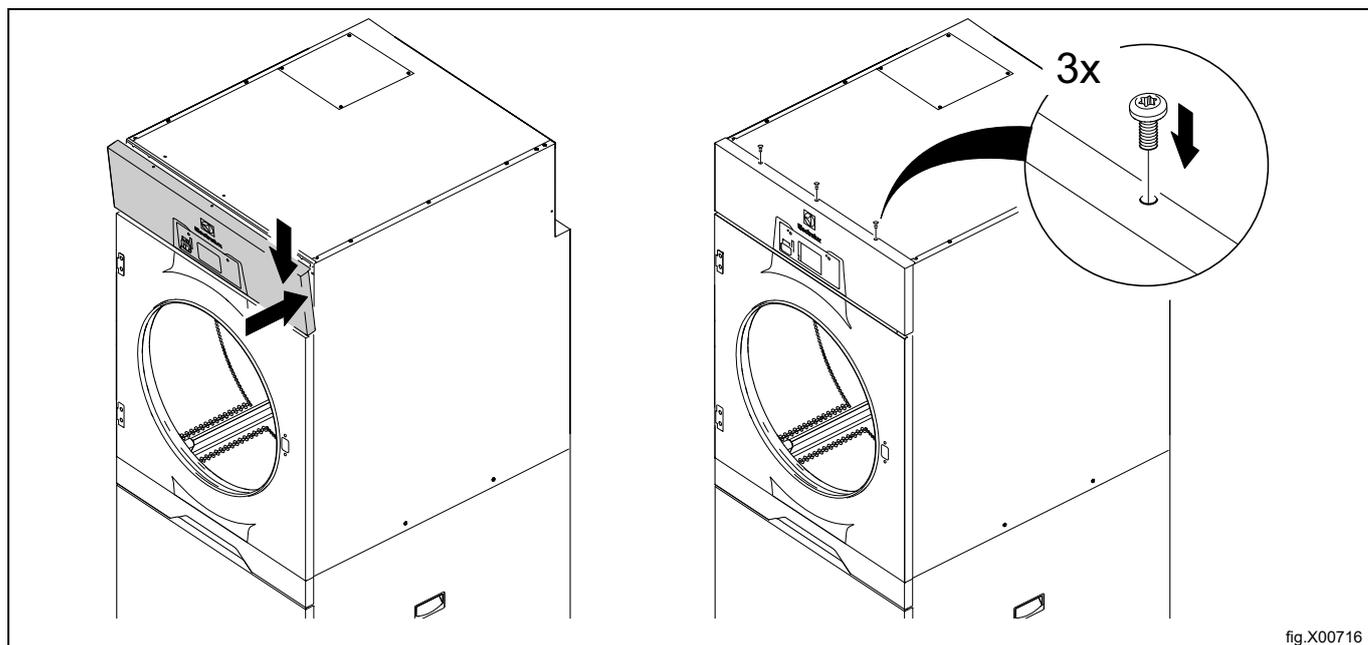


ドアスイッチケーブルを前面パネルに取り付け直すときに、ケーブルを破損しないように注意してください。

フィルタードrawerを挿入します。



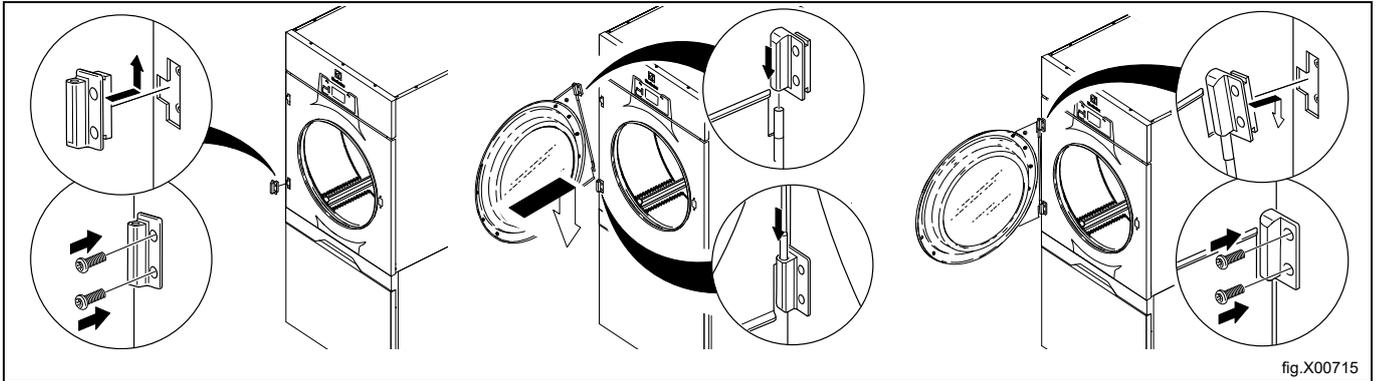
上部フロントパネルを元通りに取り付けます。



最初に下側のヒンジを取り付けます。

下側のヒンジにドアを固定します。

上側のヒンジをドアに取り付けてから、本体の方に固定します。



機械へ電源を接続します。

機械をテスト稼働します。

11 最初の電源接続

取り付けが完了し、初めて電源を接続したら、以下を設定してください。1つの設定が完了すると、自動的に次の設定に進みます。ディスプレイ上の説明に従ってください。

- 使用言語を選択してください。
- 時間と日付の設定
- サービスアラームの有効化/無効化

11.1 使用言語を選択してください。

ディスプレイのリストから言語を選択します。上・下矢印でスクロールしてください。

これは、すべての表示メッセージ、プログラム名などが示される言語です。

11.2 時間と日付の設定

ⒽⒾを選択し、▶|| を押して、ジカ/ビツケメニューへ進みます。

ジカセツタイムメニューを有効にし、正確な時間を設定します。

設定を保存します。

ビツケセツタイムメニューを有効にし、正確な日付を設定します。まず、年を設定することから始めます。

- 年を設定します。▶|| を長押しして終了し、続行します。
- 月を設定します。▶|| を長押しして終了し、続行します。
- 日付を設定します。▶|| を長押しして終了し、▶|| を長押しして保存します。

完了したらメニューを終了します。

11.3 サービスアラームの有効化/無効化

機械でサービスアラームを使用するか、ⒽⒾまたはⒾⒾで設定します。

設定を終了し、保存します。

12 機能確認



有資格者のみが作業できます。



以下の条件に該当する場合は、下記の機能チェックを行ってください。

- 据え付け完了後、本機を初めて使用する場合。
- 修理を行った場合。

本機が自動停止することを確認

- プログラムをスタートして、ドアを開けたりフィルタードrawerを引き出したりすると機械が停止するか点検します。
- 機械が停止しない場合は、正常に機能していないマイクロスイッチがあります。

ファンモーターの回転方向を点検します (電源が3相の機械のみ)

- フィルタードrawerを取り外し、次に下部フロントパネルを取り外します。
- フィルタードrawerを挿入します。

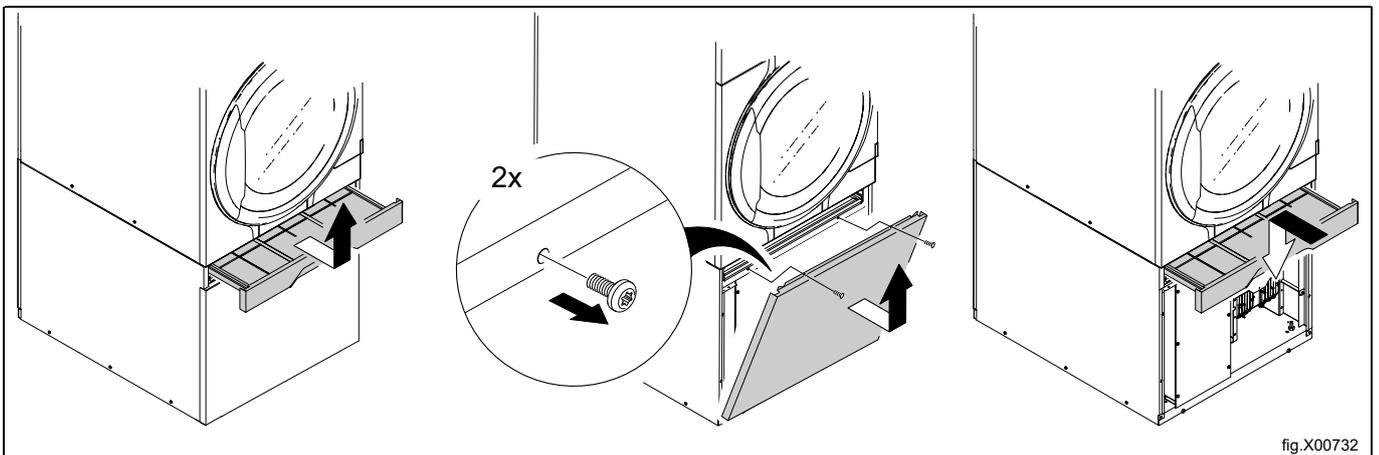


fig.X00732

- プログラムをスタートして、ファンモーターの回転方向が正しいか点検します。回転方向は、反時計回りでなければなりません。

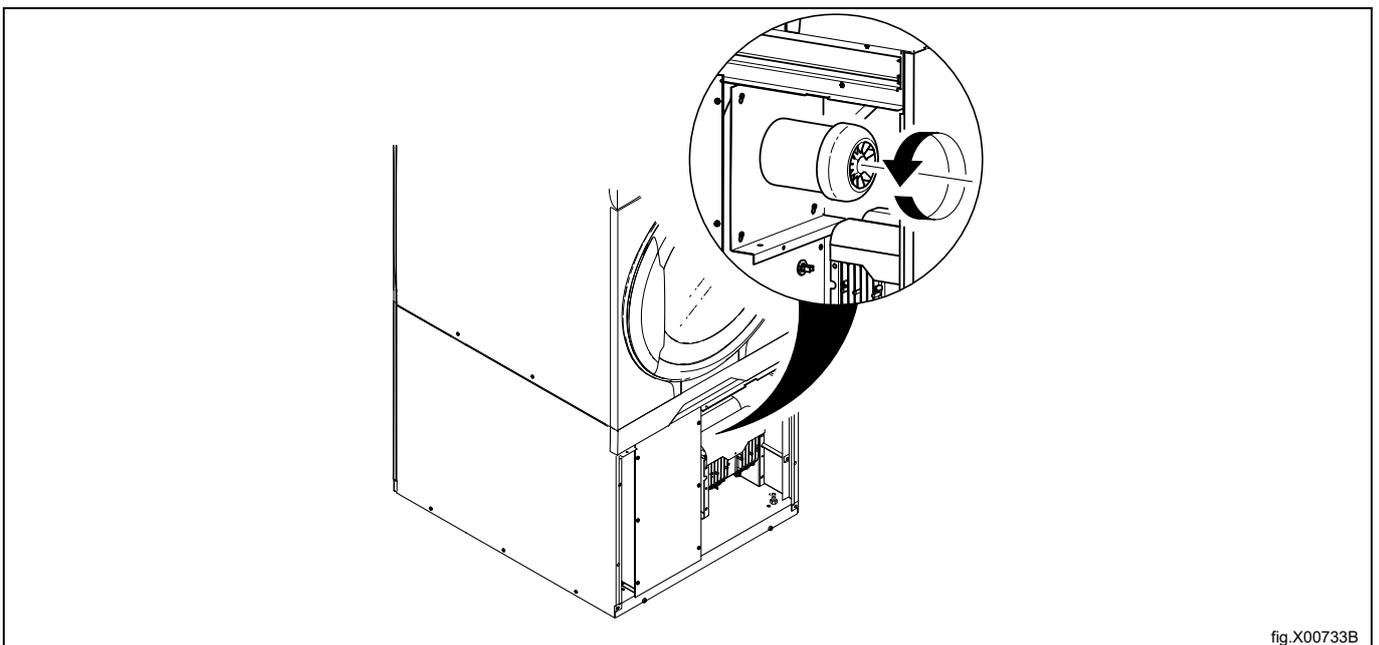


fig.X00733B

ファンモーターの回転方向が正しくない場合は、接続端末の左にある3相のうちの2相を入れ替えてください。

注
ファンモーターの方向が正しくないと、低風量でエラーコードが発生する可能性があります。

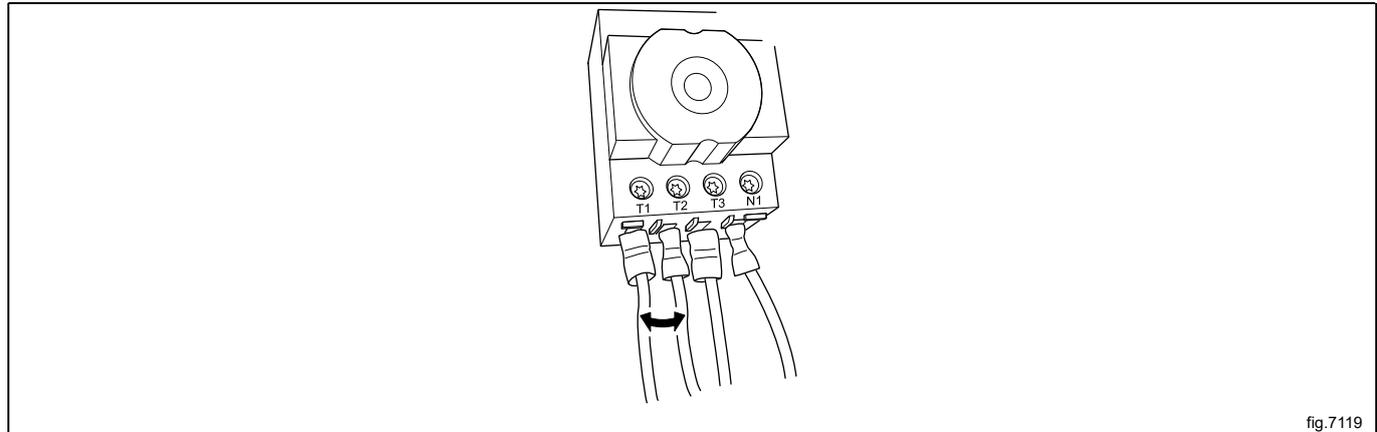


fig.7119

- フィルタードローを取り外し、次に下部フロントパネルを取り付けます。
- フィルタードローを挿入します。

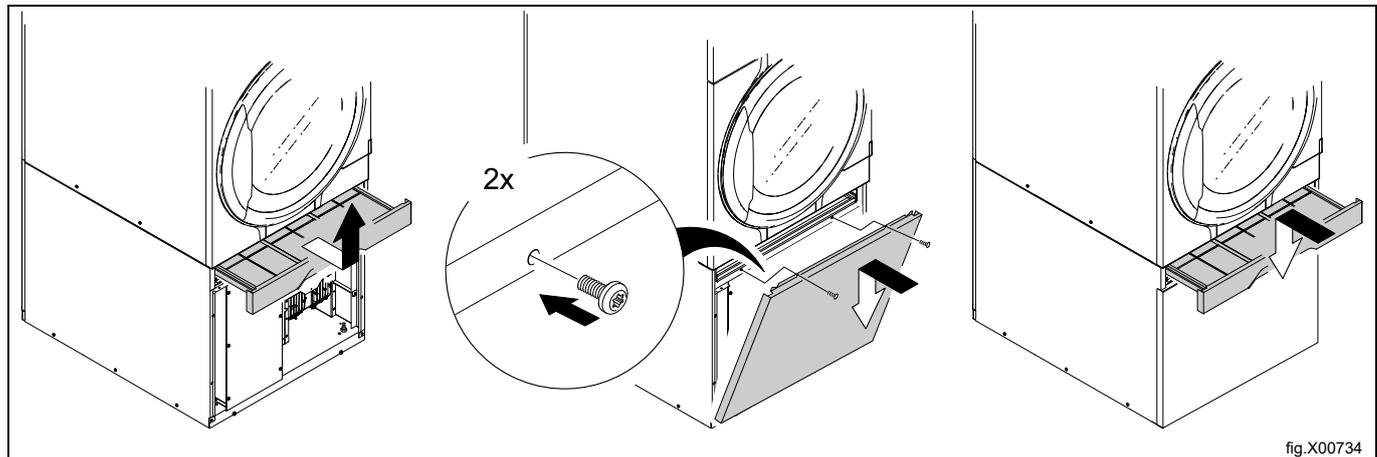


fig.X00734

熱を点検

- 加熱プログラムをスタートして、ドラムが空の状態です約5分間運転します。
- ドアを開け、ドラム内が温かくなっているか点検します。

乾燥サイクル中に、右下隅の四角がチェックされている場合、加熱ユニットが作動 / ON になっていることを示します。加熱ユニットは、ガス、電気、蒸気、またはヒートポンプタイプにすることができます。

四角いボックスがチェックされていない場合、それは加熱ユニットが異常であるということではありません。このボックスは、加熱ユニットの状態を監視して、作動 / On または非作動 / OFF のどちらであるかを示すだけです。

- A = 作動 / ON
- B = 非作動 / OFF



使用準備完了

テストがすべて問題なければ、機械を使う準備が整いました。

テストで問題が生じたり、欠陥やエラーが検出された場合は、最寄のサービス拠点または取扱店にご連絡ください。設置担当者は、設置場所にいる間に本機の操作についてユーザーに説明します。

13 廃棄に関する情報

13.1 本機の耐用年数終了時の廃棄

装置を処分する前に、廃棄作業中に、その物理的状態、特に構造部分のパーツの曲がりやたわみ、破損などを注意深くチェックしてください。

本機の部品は、部品ごとの異なる材質（金属、オイル、グリース、プラスチック、ラバーなど）により分別廃棄する必要があります。

施行されている法律は各国で異なるので、装置の解体を実施する国の法規定、および管轄権を有する機関に準拠してください。

通常、本機は専門の収集・廃棄センターに持ち込む必要があります。

本機を分解し、部品やコンポーネントを化学的特性に基づいて取りまとめてください。この場合、コンプレッサーには潤滑油と冷媒が含まれていること、そしてそれらは再生できることを覚えておいてください。またクーラーとヒートポンプコンポーネントは、一般廃棄物と一緒に廃棄できる特別廃棄物であることも覚えておいてください。



製品に付されている記号は、本製品が一般廃棄物として取り扱うことができないことを示しており、そのため環境および人体に悪影響を及ぼすことを防止するために正しく破棄する必要があります。本製品の再生に関する詳細は、お近くのディーラーや代理店、カスタマーケアサービス、または廃棄物に関する地方団体にお問い合わせください。

注

装置の処分時に、すべてのマーキング、本マニュアル、その他装置に関する書類を破壊する必要があります。

13.2 梱包材の廃棄

梱包は、装置の使用国における現行法規に従って廃棄する必要があります。全ての梱包材は環境に優しい材料を使用しています。

製品は適切なごみ焼却場において、安全に保管、再生、焼却されます。再生可能なプラスチック部品は、次のような印が付されています。

	ポリエチレン： ・ 外装 ・ 説明書の入った袋
	ポリプロピレン： ・ ストラップ
	発泡スチロール： ・ 角の保護



Electrolux Professional AB
341 80 Ljungby, Sweden
www.electroluxprofessional.com